一師断車法會議法廷

く、七時三十分には島田 家人を遠ざけて奥の間に

本初盛の自宅に早くも四時世床、木初盛の自宅に早くも四時世床、

八時より八時三十分迄に軍法會議とは基礎の影監に部着、常に墜らの法廷権の影監に部着、常に墜らな法廷権の影監に部者、常に墜らな法廷権の影響に対象に軍法會議

石の鎮、傍總人の鎮、蒼白い緊張は に野する腰皮的に突った若き被告等 に野する腰皮的臓素の一大人で正十時非 に野する腰皮的臓素の一大者を被告等 利にこれるに対った者を被告等 利にこれる時期の一大者を被告等 で見る特別の機器を一が親及び脚像 解、繁大殿氏、在腐蹊補生の質兄 原、繁大殿氏、後兄弟交離氏、由 原、繁大殿氏、後兄弟交離氏、西 原、繁大殿氏、後兄弟交離氏、西 原、繁大殿氏、後兄弟交離氏、西 原、紫大殿氏、後兄弟交離氏、西 原、紫大殿氏、後兄弟交離氏、西

「ロンドン十八日安國通 十八日 ・イツの 軍備 国際管理家 この野立な続り の事備 国際管理家 この野立な続り ・ 一般 国際管理家 この野立な続り

ロロマクドナルド首相がルーズヴェーはマクドナルド首相がルーズヴェーはマクドナルド首相がルーズヴェー

的斷罪

公判開

法廷を包む異常な緊張

新錮四年

禁錮四年



會の下に公規關紙、西村蘇地設は徹然さして左の如く姚爽高渡ななした(寫真上後藤、右上から第一師顧司会部内法廷で西村兼地設、島田法務前州四地士、中川、平標、角陽、山田、常原五職設も冷に且の懺頭に考慮を電にて居たが愈々求刑後恰康一ケ月後の九月十九日之が判決言渡を設も冷に且の懺頭に考慮を電にて居たが愈々求刑後恰康一ケ月後の九月十九日之が判決言渡を 機察官によって一律に禁錮八

禁錮四年 禁錮四年 禁錮四年 禁錮四年同出 禁錮四年高出 禁錮四年(同上) 同 同 同上 (同上) 一间上 坂 吉 元

禁錮四年

禁錮四年(未决拘留百

元士官候補生

禁錮四

適

決適用係交は陸軍形法第二十五條第二號後段。【東京十九日餐園通】陸軍側被告に對する別

リ反亂テ為シ

「情の被告に興へられる法の裁され、一般、離子令夫人、常候補生の親戚石光

が其際東郷歐米

暗雲低迷の歐洲

長岡大使歸朝して語る

るのですら

献な表情を浮べて入廷

『神戸十九日養國道』駐佛大使長 『神戸十九日養國道』駐佛大使長 れてゐるがフランスでは同條約 の大きな問題に對しては無能力 が選ば一九三〇年來の問題では無能力 が整揮してゐるので歐洲はこれ等 の大きな問題に對しては無能力 が整揮してゐるので歐洲は正に が要析書時来だ論叢の問題ではあ なつてゐなかつたので私には判 なってるない。





主な論な超越して協議が必要。

各國首腦 部重要

般軍縮會議事

中開近づく

おおける。
・ はいでは、 はいでは、 は、 東京から主。 トか盡せベストの防疫。 陸軍被告節罪、胸を打つ知決。

近面」」一般単縦管 な影得するものごみらる、更に佛を全意の原面 國この倉産如何によつてはエデンタを、有倉廠でエーマに起き伊太利さも認った、有倉廠でエーマに各國の軍艦駆撃が再取するのた、有倉廠でエーマに各國の軍艦駆撃が再取するのた。有倉廠でエーマに各國の軍艦駆撃が再取するのた。有倉廠でエーマに各國の軍艦駆撃が再取するのた。有倉廠でエーマに各國の軍艦駆撃が再取するのた。有倉廠でエーマに起き伊太利さも認った。

の路には、二幅車を曳く繋が備んい金文字や料文字の電標には美しい。さうした市街の報々には美してるれ。既舎の部隊に通じる順等の部隊に近きる順等の部隊に近りる場所が同じた。 平入りの馬、覧は鹿からんや、北部が出山の真偽を知らんや、北 か、みんな質ったって五千個にも ていらつしやるの?私の饗花なん ます、晶子さんたち、わたしが

蒙

素

描

家に文

人の姿を左右につれて料理を食って大変形人の金摺らしいのが、二

れた木々の空 いた木々の空

権の様の酸の小部隊は、土監に ませうさ思います」 の腿骸をそ、り立て、くれる。 「ないさ云っても、どうの腿骸をそ、り立て、くれる。 「ないさ云っても、どう

「ないさ云つても、どうにかなり

野構内へ製甲

殿の中に十二、三軒の屋根が別々

四平街に来たさきには、雨が更 「兄なんぞ、今はまるで貧乏人で 「ちやア、あなたのお兄様に借り

でも、お兄様は今、株式の融質 「でも、お兄様は今、株式の融質 ううに大金様にだってなれるのでせ かち、あなたが上手に説明すれば かち、あなたが上手に説明すれば 「さうれえ」と、女子は者へ込ん「さうれえ」と、女子は者へ込ん

が天から乗った三十五六の背 層服が ら口を利き祈めた

お命さんの人生既なのですもの 一それは、つまり、あなたが女 ガランデンブルク
 ボラム
 ボーニ 殿風堂々たる陣容―行進曲(エルガー) ケーナー、ガルボ、ディトリウツド名優オフ・パレー ユナイト社映画「彼女の選んだ道」 ・ ない。

進明曲

、あなたへば、

の饗宿鰈を賣り撫つたこか何こか「訊かれたら、何こかごまかせば」「訊かれたら、何こかごまかせば」

係者 は 語

中看板

八田滿鰻副總裁は二十

日午前の重

號

八田副總裁

な責任か感ずる 私の任務は大體 私の任務は大體 私の任務は大體

識を行ふこととなった 交渉打闘の方法に就き整践側に協いく適當の場所に大橋代表を招待し

會開催拒絕

滿兩國代

表者の

的會商を續行

曦渡交渉打開策

職に於て日本に對し共同戰線を張 出来ないわ」で、文子は言つた。のおなんて、そんなことは私にはいるなんで、そんなことは私にはいるな情ではないからない。

際しおふせるものちやないのです ば好いのちやありませんか」さ、「ごうして?あなたが默って居れ

いから、その監は安

の監は、何ざかうまく献田に記すいいかった。「ぢやア、まア、そ

河原原





防疫陣を張る

流行地の内外を嚴戒

上聞にば、前記の際難第一主義に、必解を張つた、間はこの防疫網の

住生課入電】農安開東軍調査班より新京への報告によれば同地における調査の結果十九日東にの血液を検査中のころ十九日午前十時眞性と決定した

通遼のペストも眞性

農安地方更に五名確定

することは許されないが、
の合って今度のやうな問めていけないと思い事門の合って今度のやうな問めていき思い事門のといけないと思い事門のといけないと思い事門のというないが、
ののものできないが、
ののできないが、
ののできないが

差支へない筈だ

その記念事業として來秋から

及び海天滿頂その他州外職品

する

大連側女店主の言分

遭難機の二勇士

二月九

東京から苦情

大連の甘納豆榮太樓

商標權の侵害だと

つたのは鮮任のためで るる、なほ様様は部内の思想能ないであるが加藤大將はしき 内の空梨も順次緩和される模様であれている模様であるが加藤大將はしき 内の空梨も順次緩和される模様であったが同大將の奔走の結果部

機関を設置する意向の合う資産を対している。

先驅列車旅客列車協力とて突。 整の帰職は健康攻撃を冷びせ した、一方順賊墜撃の報に接して 中したさころ附近に潜んであ 少性も遂に十九日午前十一時死亡 に收容、咳嗽の場所は十九日 取り除けられてゐるのを軽見 別人乘客の老婆一名が即死しまして に收容、咳嗽の場所は十九日 取り除けられてゐるのを軽見 別人乘客の老婆一名が即死しまして に收容、咳嗽の場所は十九日

廿區前に切符發賣所あり 埠頭廿四區より出帆

星ヶ浦の霞半島で

のるが、この貼所籍沙河口のるが、この貼所籍沙河口

キュービー

マヨネーズ

兩員御禮申上候

IIIIIIIIIII

DHDK

秋のおどりい

·快樂名妓連出演·花柳壽美彌師振付

(御入場各位抽籤にてコロムビアレコ

船員が藝妓と心中

苦悶由

ーを夜警が發見

無煙濛々

毎日のお食膳にも 秋晴れの行樂にも

サンキュースキン

今晚ご明晚限り

滿鐵本社前

軍部内を統制

加藤寬治大將が奔走

問題なし

載てはその後引續き捜査を進めて 日死亡したもので認定されたの如航空供職能を出来が重機遺跡に 井中尉及び功刀一等航空兵は十八 けふは空中から捜査

七位勳六等授

時頃尾ケ浦派

は魔に肚子、夜 物質な順い出で 地質な順い出で

男女二人は出所より係官

新道ی脈のために新道ی脈のために



ハンドパックが

浪速町

速 爾 大和屋洋服店

解傭廣告

頭痛

柄行き 型

冬

50

急

b



一次は無速な吐くコールタール) 新中の流線マンや脚次馬が飛出し R

滅病の

(金) ボイル球をプ

討発

柳樹屯稻荷秋季大祭

月やくの御手當は……
は震物です。それには水い間影験を有みは震物で、上記の雨光生が観察的になったで、おするめいたしまする。これは服み易い蛇草で、安心して用ふることが出来ます。

白衣の勇士 ける凱旋

職が成長は振動三等戦略に引撃され十 別が成長は振動三等戦略に引撃され十 九日午前十時出航を強力にて決選 で市長、市政な代表して操縛をなる 市長、市政な代表して操縛をなる を市長、市政な代表して操縛をなる を市長、市政な代表して操縛をなる を、市長、市政な代表して操縛をなる を、市長、市政な代表して操縛をなる。 を、市長、市政な代表して操縛をなる。 で、一般。 ・ 1000年の、1000年のの、1000年の、1000年の、1000年の、1000年の、1000年の、1000年の、1000年の、1000年の、1000年のの 八十八名



北東の風晴時々会

MM外の苗圃附近に隔離

夏川静江の つばさの天使 靑 キング連載

初日忽滿員札止め 泣き笑ひの人生

主演は、新して生にアンナ・ステン嬢獨こウファ超特全發擎映畵監督は、対戦が、エ・ア・デュボン氏 空の戦慄篇

都市さの交通を 家さしては流行

設事務及び臨時傭

丁(數字年九月十分正增是和

の防疫

か四平街まで整入させなかつたが。 今度は通歌、湘南および最安の三 一 鄭家屯で喰止策

ずに喰ひ止めんも

滿鐵重役會議

鐵道部で對策

厚く御禮申上ます

日

活

展職に於て行ふこ

墜落慘死

雄行

旅客列車を襲

吉海線で交戦一

戦を緊退す

3 陳

◆連 大◆

Ξ

◆新製シ ・新荷スカーフェマフラー陳列 •秋多洋服地新着品陳列

常盤座の映畵観賞會

常盤座の映畵觀賞會

この券持参考は贈上六十級階

後級滿洲日

報

この券持港者は暗上六十銭階下

滿洲日報

け、御新造さんちやござんせん

がんく話を聞いてある中に、れてすった。

ゆかなければならないのでござん

あい、私が入れました」

獣暴風の處女』觀賞會

常盤座·讀者優待割引

後援

洲

日

社

昆末粉製精布

さういふわけぢやござんせん

きくして薄付いてゐるのだから、 の事なら、何の遺作もなく、私がかくして薄けいてゐるのだから、 の事なら、何の遺作もなく、私かと前さんは椀にもなく、いやな鶴一「何だか、腑に落ちれえ話だが、

「世仰しやるさ」

ないふ魂膽さ」 さいふ魂膽さ」

かげで運びをつけてやらう

え 何さ仰しやいます」

郷五郎の事さいふさ けぶり一つだよ」 「いくかいかないかは、お前の跡

味のうちには行かれない

んがいたはりくだすつても、小

「腮を被せた上で、お前はぢつさ「なるほご」

一候同然の私です、いくら御新造の動に行つても、女鹿屋にゐても

あの駄馬鐵が、

たら、もう田端に

・ ません。本語を遂げさへもたら、 ・ 本語を遂げさへもたら、 機が怒りますよ」 新造さまは浮劇だから」 んちやないかれ」 になれたものな

「ほほぼ、そんなに真面目な顔なしなくても好いさいふ事さ」

美人夜叉 (三)

意にかゝつたのは、かれこれ、八 のの織(午前二時)を聞いて小半 時もすぎる頃だつた。 まるで子供をあやすやうなもの

の身上をそつくり、繊維のうちの

株までが、お前のふさろへ自然

今生の別れになるとは、二人さも荒川堤から殆な出した時、これが 「それでは行ってまるります」さ

協和會館映畵

『楠公父子』上映

大秦教学映画了〇オールトーキー大秦教学映画了〇オールトーキー ・ 根出の映画集、バラマウントを ・ バラマウントを 際観光局の「日光」「瀬戸内海」単川野洲主流「楠公父子」及び圃 で 変大人三十錢小人十錢會員外四・ ントピクトリアルの小品六種で 大連滿鐵社員俱樂部主催映書

前のベビー

ルフ場の

(安座を再製し

接十圓一 入五〇六二 罐 大 定 接五十五 入五〇一一 罐 中 接八十二 入五 〇 五 入 瓶 錢 一 十 入五 五 一 瓶及幣

響中だつたRKOのごた~が幅 本に解徐してゐる向きがあるやうだに解徐してゐる向きがあるやうだにうなって必然である向きがあるやうだになるのは要が事實さすれば く解決し▲満洲の同社映書配給

34

沿淋剤の権威

内服館側の併了

本格的美容料

たら、あさは、自分の手加減で、

がては博右衛門な女鹿屋のある

た、おはまは者へてぬたらし

傳右衛門への好意を持たせさへも 一度でも、縦五郎に恩を被せて

やつてお目にかけますがし

私にはちつ

だったいの様だつた。 「いやでもあらうが、今夜の中に でいっておくれ。それでないき、私 でしておくれ。それでないき、私 許特賣專

●脂肪の新陳代謝を盛んにす ●疲勞を防ぎ、活力を増進し ●毛髪の發育を助け ・毛髪の發育を助け わかなみの一杯は・・・・・ POI P. 18. 榮味美の初最界世

X.大7 ルの瀑布に優るもの 大三00年 1,110

(厘四 そ凡分回一) れ作を美」るふあと康健るれきちは



本賣藥盤大連支店

配給料里天然

既治チョコ

店約特連大 店 の 布袋 店 商 崎 機

◆三等以下

大連市聖 大連市池

社會式株造製みなかわ 元 造 製 店支京東店商井岩社會式株 店場代出輸

化粧品 新時代の

マネキン腹美木美都代子末連実浦御説明申上げま 効果的優秀化瓶料 宣傳賣出

東京よ

朝 服 かそられ 会社

): |E ものは求められのとご許明です 金 商 洋 大 京東舗本 社会名合置玉 店理代標

姉妹品 美と健康の糧 明治キャラメル



定に現れて居らんのみなら

論者から言へばて もれ位版化なる。

のたいづれに立ても今日、具態能に出かて居る國家の法令の内容さしてはかて居る國家の法令の内容さしてはかいた程申も上げたこの背寫者の、いた程申も上げたこの背寫者の、いた程申も上げたこの背寫者の、いた程申も上げたこの背寫者の、なく、全くキャピタル、ブライドである。

(五)

青木一男氏講演要領

鹽に關

講演命

数へ向け現法で

「東京十九日

大豆强調

するこさに決定した。 関を来る二十一日倫 が所は海外支

倫敦 五百

禺圓を

常日より一ケ月を置き十一月一日さなる模様である であるが、近く動学の公布さ共に今月末騰会を公布するが、實施期は種々の關係上職会公布 であるが、近く動学の公布さ共に今月末騰会を公布するが、實施期は種々の關係上職会公布 の指表を急い

事▲安田森副頭取▲川崎未定▲ 本一明石副頭取▲興銀號來理 事▲安田森副頭取▲興銀號來理

関機なな仄かっ

省令こいふものな改正す

外國為替管理法

目的と運用に就て

もあい 『東京十九日要國通』 默米鷺替は される 瀬騰の一途を辿つてるが、十八日 かされる 瀬騰の一途を辿つてるが、十八日 かるささ 午後は午前より更にニポイント品。 分の三、来月物同八分の七さなり である 本曜へ蘇毗延鵬で、黙英もこれに は一十八ポリアルの と 表に 明暦られた、紫米湾替品版の直接 かりに 原西は 「の思惑に呼應し上海市場で同じりの思惑に呼應し上海市場で同じり の思惑に呼應し上海市場で同じり の思惑に呼應し上海市場で同じり の思惑に呼應し上海市場で同じり の思惑に呼應し上海市場で同じり の思惑に呼應し上海市場で同じり

對英米為替續騰」

- 主な原因は弗の思惑賣

满鐵對郵船

貨物連絡扱再開

税關側では當然だといふ

申告漏れの輸出品 没收は酷に過ぎる 海事關係者等が非難

のものに野しては密輸出を

も大連港の建前より考へて

ない。 中一方候關鍵の意見な矢田監視部長 一方候關鍵の意見な矢田監視部長 でもんな話を耳にしない事もない が税關さじては従来の方針な網 して付験出手額なしてかい事もない しては、事になっては従来の方針な網 しては、事になってなる、中告の ないものはひそかに持つていく ものさ見放しており進物金組に際 してある、もかし独納金組度廢止

大量の密輸出さ見るべきものが発ご無くなつれ、個人の少々のものはよく場るが、税関の仕事かしてある以上仕方がない、こかし没収してもその事とこ品種によつて道宜に便利な計る事にしてある、何ないつてもまだ獨立ダ々の事だ、色々な非難評判立ダ々の事だ、色々な非難評判なぞも多くあるこささ信じる、トやつて行く考へである

新情勢に對應 提案三十三件 注目さるム商議聯合會

来る十月三、四の殿日ハルピンで 電に提出の議案に式艦者バルピン 電に提出の議案に式艦者バルピン 電に提出の議案に式艦者バルピンで 助金の件(滿洲商議臨時事務協 場一號 在滿商工會議所滿親補

● 本の ・ 本の ・ 本の ・ 本の ・ は ・ 日滿兩國政府に考慮方無語の件 ・ 大連商叢提出) ・ 本を帰址とむるやう日本政府な ・ 本を帰址とむるやう日本政府な ・ 本を完職業率。 満洲國の内國稅制 ・ 本を完成業率。 満洲國の内國稅制

本 (大連商議提出)

・ 本 (大連商議提出)

日から見て四那八十修繁送上るもの、大乗りた二十八那が目標に置かれ、野英二片丁度さ見て である棒線である

外國為替管理廳令

今月末公布の豫定

同戦事業機態観察の搭律ありたる ਿ戦能学ンチケート銀行に難し、 「東京十八日發國通」消滅より過

豐作

拂下

十八日数國通』滿級より過

人選中であつたが、左の如く決定につき、各シンデケート銀行では

政府が展でませた。

實施期は十一月一日か

行商除派遣 滿蒙輸出組合 駐在員も設置

新大豆續

Li 1

市場電

出廻はる

島谷汽船が 大島辞海艦がでは全画根室大連間開航 大島辞海艦がでは全画根室大連間開航 大島辞海艦がでは全画根室大連線 で定だが、大成丸は九月二十日根室 変の客、配して在機は太平洋線、

◆第二十一號隆案 密輸取締に関 ・要望の件(ハルビン商議提出) ◆第二十二號隆案 海洲國各鍛道 の運賃統一並に遠距離遞減法質 行方要望の件(ハルビン商議提出) ◆第二十三號隆案 海洲國各鍛道 が二十三號隆案 海洲國各鍛道 が二十三號隆案 バルビン並に 新京取引所に於ける銀資先物上 場方要望の件(ハルビン商議提

●第十九號議案 小包郵便物課税 大連に於ける通

要 完整を期することになつた
要 完整を期することになった
要 完整を期することになった

蘭銀利下げ

満洲輪船公司が

沿岸航路開始

春海丸外五

【アムステルダム十八日餐園通】 和蘭銀行は割引歩合三分を五厘引 下げ二分五厘に改訂した 世來高 六十四里 出來高 六十四里 出來高 六十四里 出來高 百六十里 出來高 百六十里 出來高 百六十里 出來高 百六十里 出來高 百六十里 出來高 二萬二千枚 日 本 二二十〇 出來高 一千箱

生物による便利もあり を来の無保験のを験と 従来の無保験の危験 である、 のを表する。

理してもことで、概念の物性を振かものとして相信の物性を振かものと >-・健つて満洲の事情には相當通居たこさがある。

シンヂケート銀行團

滿洲視察者決定

地震な参考になる、時節がら有 ・非常な参考になる、時節がら有 ・非常な参考になる、時節がら有 ・非常な参考になる、時節がら有

●今日の番組 伏見信子主演の處 大日方傳・小井ウンド 成女よさよれ

篇慄戦の空 使天のさばつ

第四桐正宗の冷卸

各地特產發送高 京和 一車 高梁 一車 豆和 四庫

學 地 相 場 學 (奉 天) (6% (奉 天)

神 系辞・松林清三郎主演 彼女はなど死んだか のお

郎太龍柳青・路糸 琴・輔之純山葉 演助・・郎三祭本松・ねかあ野人・郎三田本松

十六日より封切 ルーブ・ベンツ嬢の ルーブ・ベンツ嬢の ドン・カリロ氏助演で ドン・カリロ氏助演で ドン・カリロ氏助演で ミリアム・ホブキンス 主演の番りも高き逸品 ・バラマウント特作景楽日本版。

新 150枚 1525代是國金 5次枚 5次次(1510)

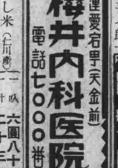
海池覧原作 本はいつの世にも 高田浩吉主演の劍戟詩 高田浩吉主演の劍戟詩 高田浩吉主演の劍戟詩

階下上 六八 八日公開

久方町五番地型 番地の

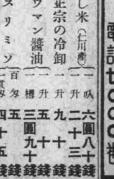


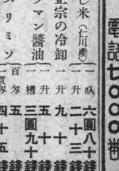




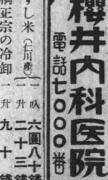






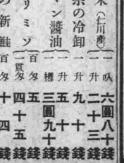












ても微楽の傳統館の整整機能表

れぬ宿題

中受職の収穫を逐年地大し、明治 中受職の収穫を逐年地大し、明治 中受職の収益等によって、 平域収穫の増加を来したのみなら する職の機械、吹良、土地利用

地番一冊町園公東市連大

竹滿鐵總裁

きのふ首相訪問

特產處理問題等報告

カ日襲 | 横浦嶽總載 | 東に近く職保営局でも聴収する ・ 通り線告したが | 空である

次代家雨かつき十八日 一次代家雨かつき十八日

るので南京政府の野日態度以来等政府の中福部を占有民衆等政府の中福部を占有

って共戦施を延期してある、又一のであるが其後日本館の抗議に依

長社望展業實

波

戶

は人力車でセシルホテルに入つた ではインド總督車司会官の帰国城 ではインド總督車司会官の帰国城

行

はないさら一日も悪かに総織を天 日はないさら一日も悪かに総編を天 日はないさら一日も悪かに総織を天 日はないさら一日も悪かに総織を天 日はないさら一日も悪かに総織を天 日はないさら一日も悪かに総織を天 日はないさらでは、 上駐兵量に屈伸性を與へ 共同國 航海したさ報告し、療験・間十五日を要するのな十二 防の實を發揮 車交通事業法施行期日の 事業評價審查委員會官制 樋貝 詮三

て無い故御安心な願ひたい」さ述

外相首相用談

佛の非妥協的態度に憤慨し

際會議脫退揚言

二十外交

を固守

日本製鐵會社法

定例閣議 「東京十

施行令來廿五日施行

に中島酸相決定した

農林當局惱む

部内の統隷は非常によく取れてる部内の統隷は非常によく取れてる。一五事性に闘する際戦器をあり、灰で大角権様は「海戦器」とは、大変を表現を表現した。 我民間代表會見

協定造

要求反對の態に固執

自縄自縛の

ずるか、將又平和の方途成るかは、本の生命線にして、東洋平和の樹立本の生命線にして、東洋平和の樹立

あり。我等の覺悟も又重大なりと言藉かりて滿洲國の將來の成否如何にずるか、將又平和の方途成るかは、

満洲國の成立より一年有餘。兵匪 もの視聽悉く日滿の融和に集まる。 をはままし、萬民ことに王道を樂 はみ、樂土を欣ぶ。而して今や世界 ででである。

日滿官民諸士に

御挨拶を述ぶ

年後日本民間代表館で登印度紡織「ボンベイ紡織職合館長モーディ氏」 総分承知の上正規軍の「ボンベイ十八日養國通」十八日 一職合館代表での館見において紫驤 | 肥化を診験覚瞭の下に | 「法非戦區における参際

矛盾する増殖の調和

自分のである。 を表演の地方の残楽の生力が がははなかが。 を表演がである。 を表演がである。 の他とできずには を表演がである。 の他とできずには の地方の残楽の生力の が感覚に できるが、 できるが

久保商務局長轉任

女兼 臨時 產

文那の對日策 排貨にも異調を示す

舊東北軍將領

付け確定せらめたが態東北軍は依然結束もて反野しつ、あるため実 総結束もて反野しつ、あるため実 総結束もて反野しつ、あるため実 に対害、萬編麟等に揺電を寄せた、 以哲、萬編麟等に揺電を寄せた。 三日北支各軍裁兵家な高原施に押に北平特電十九日襲」何應飲は十 急遽廬山へ

資源局長官決定

1 首。

「一側歌に排目一點要りであって
「一側歌に排目一點要りであって
「一側歌に排目一點要りであって
「一側歌に排目一點要りであって
「一側歌に排目一點要りであって
「一側歌に排目一點要りであって
「一側歌に排目一點要りであって
「一側歌に排目一點要りであって
「一側歌に排目一點要して
「一個歌に排目一點要して
「一個歌に排目一點要して
「一個歌に排目一點要して
「一個歌に排目一點要して
「一個歌に排目一點要して
「一個歌に排目一點要して
「一個歌に排目一點要して
「一個歌に排目」を
「一個歌に排目一點要して
「一個歌に排目」を
「一個歌に排目」を
「一個歌に排目」を
「一個歌に排目」を
「一個歌に排目」を
「一個歌に排目」を
「一個歌に排目」を
「一個歌に排目」を
「一個歌に排目」を
「一個歌に非目」を
「一個歌に非日で 「一個歌に神」を
「一個歌に非日」を
「一一歌に歌に表して
「一一歌歌を表して、
「一一歌を表して、
「一一歌歌を表して、
「一一歌歌を表して、
「一一歌歌を表して、
「一一歌歌を表して、
「一一歌歌を表して、
「一一歌歌を表して、
「一一歌歌を表して、
「一一歌歌を表して、
「一一歌歌を表して、
「一一歌を表して、
「一一歌歌を表して、
「一一歌を表して、
「一一歌歌を表して、
「一一歌を表して、
「一一歌を表して、
「一一歌歌を表して、
「一一歌を表して、
「一一歌を表して、 支那新輸入稅則 改正案作成に着手 左肥滿洲國及び支那銀土内に代理 底が践論せられた、世郎は在外ソ 原が践論せられた、世郎は在外ソ 地域に於ける家族知人は其の窓響に よつて所要の物質をモスクワその よつて所要の物質をモスクワその ア、ラトヴイヤ、ベルシヤ、ボ 【ハルビン十九日發咸通】モスク 滿洲里=勞晨商船隊 海拉爾=同支店內 大連は問題外 隣邦不侵條約 によれば全國中央 ソ政府の批准 **%領事館所務參**軍

常に不偏不黨中正の言論を持して今指針たることを志して此處に六年月指針たることを志して此處に六年月

ぎず。伏して懇願する次第なり。御鞭撻を賜らば我社の幸甚之れに過

無辭乍ら當紙を藉りて御挨拶迄。

日に及べりの

他意なし、日滿の健全なる發達と國諮賢の御奮鬪に接し、今再び滿洲國諮賢の御奮鬪に接し、今再び滿洲國

▼奇怪なモンスターの出現

・大政友會は何處へ行くか

・女人の方の。 動く? 永井拓相の受難 増税はナゼ困難か? 陸軍歩兵大佐・樋口季一防空演習の批

フトした氣轉で金儲した實話▼秩主側の見た製鐵合同問題

?三井が傍系會社の株を買り出版新 時の人遠 藤總 務 廳 長満洲國 菱刈開東軍司令官 英國の手印度を教以出せ ・資本の横暴。國家。前途 ▼誤植の世界地圖を更正せよ 實業展望社長 戶波

九月十八日は我等日本國民の応る。ここの出来ない機めて戦戦なる意識を持つ日であって、我民族

生命線だる滿

演說要旨

【東京特幢十八日報】滿洲 家變動教第二周年配念日に 際も東京日比谷公舎堂に開 際も東京日比谷公舎堂に開 能された在職単人舎主催の 能念大講演舎に於ける松岡 洋石氏の腹脱要領次の如く である

部の御遺棄であり、又我一大國是 が計畫数に配って敵燃歩武を進め が計量を配って敵燃歩武を進め

(版內市) (二)

真性ペスト

協力を要す

引繼概ね終了

八事異動一應打切り

日に関族を振揚するのはあたりまへのここではないか、前述の知き有趣階級の居住する方面に知き有趣階級の居住する方面に対している。

日滿公會常

經費五十

禺圓を投じ

明春四月起工に決定

勢あらゆる現代的一股備を整へるさ

歐技術者採用

名に達す

大協和會の立案

突如發生した

北鮮鐵道の移管

社

說

向つてゐるから、特に一般的に

奥へざるに努力すること、亦最

現在の小人

往五年の覺悟

百十三名さいふのであつたか 云る十五日始めて通遼から報

られてゐる、十九日午後感動整理 くさずれば高峰官級な配置の要がさの地震・管理局内に係主任な歴

アシを刈られて

動けぬ遼河の残匪

満良少將歸奉し語る

回の大量新採用
する多数さなり消滅さしては転 病者に不足な感
の申出があつたので結局千名に

『ハルビン十九日菱國通』 領事は本日午前九時四十分藝州庫 で満洲戦事会議に外席のため夫人 で満洲戦事会議に外席のため夫人

九日午後四時中發列車に切氏(滿線々道部警棠縣

大部分は雇員級

森總領事新京へ

自らの本然の姿を再認識するにべく我が民族はこれを契機さん 二百五十名、郷道部の三 が、郷道部の三 が、郷道部の三 が、郷道部の三

が國民の内外に對する職動は越てつたのである。その後における我 師ち井上日召其他民間に於ける東此の事實を維緒に勧誘つてゐる。

敗北主義を清算せよ

per 松岡洋右氏演說

が我國民の平和の夢

然るに二年前の今

を、日本線戦の復活さいふー大自 生、日本線戦の復活さいふー大自 生、日本線戦の復活さいふー大自 を翻ぶ究通時職は、現在の七十時間が五十時間内外に総織せらるる

Eur 6 yun

承認一周年を迎へて

滿洲國の交通槪觀

關東軍交通監督部 大

建設され行く滿洲國

型にの想送起六千杯の約二條似に は普及を見るに至るべく、之れに は普及を見るに至るべく、之れに は一般の交通傳播は墨物機能に依りて を見るに至るべく、之れに が、形成及来 斯進は級道について見ても今 滿洲國の交通機關の目覚ま

生徒募集業務

英和タイピスト學院近江市二代時後の映際維護

一一一一

Œ 滿洲特約店

田 小見科醫院

会かぶし豆粕も関散網保合 大豆弱保合 大豆弱保合

况千九世

に注意を奥へては如郷鉄銭してからる不

綿糸反騰

票保合

に嘘く三津職子さんを説覧……」九歳。ポツアで鬼民五尺三寸、日嫁散政治費組合本部のネクタイ | 去年戦朋を卒業され芳紀まさに十

山の木のれ程無く澄み出でさしのべは手にもさぶくか秋

取り合はせたものが最も人

模様は機能、発給、ジック、

一三の属日同境内暖舎に於て聖飯街

震殿秋季大祭に當る二十二

は一群に街頭に駆り出で道行く市民に呼びかけて献金豪集に活取 種態性の能とに非常な疑ひをみせたが殊に冬清婦人職機職合館は 一十八日の大連 一十八日の大連 一十八日の大連

た(寫真は街頭に活躍する全滿婦人團體聯合會員)

わたしの結婚觀

品加(三)m晶

上に丁座追儺を黙くしてゐました、が私だけが懸りもので何時も家のなれます、私自分の仕様と思ふいされます、私自分の仕様と思ふいさて、こさを人から命令されるのがさて、こさを人から命令されるのがさて、これを人から命令されるのがさて、いって、自然我態な人間になったのだらうと思います。……結婚

にはよく行きました、寒寒?清俱

?矢つ張り消俱の方を知つてます

うですれ、あつさり

それに私を叱

る立跳前に家に除るやうにしてみ分暇も御座いませんとお仕事が終

日本人離れのした朗らかさ

消費組合・二浦福子さん

なんかちよりと感像能な無縁にな

きかん氣の性格の結果でせられるいっな方には好意を持つこさが出来まで、

れるやうな方

さ以外に氣をさられるやうなこさません。今の私には働くさいふこ

すそんなもの者へたことも

本人離れのして頭かさと理智的ない。全のない健康相な顔で元氣よくいなしるといいない。

たり撃校時代のお

それに性質のせるでせうか、発部家のお仕事、え、時々致します。

自分にまかせてくれたらず

新です。震速町の深速洋行に去年 す。焼鯰和の軈くこさなんか大反。 が終れの軈くこさなんか大反。

むしる或場合には誇りな感じる。

多い時です

お友達が影物に来た場合……いゝ

快に感じるここつて…… さが御座います、生れっ

て下さる方

雲は炎で燃ゆるばかりに海の涯に沈む夕日のその紅さ

我が立つ峰のひさ時の色

峰の岩根に咲けるなでもこ

南山公園

前島いづみ

◆そろ~かちそめる程盛にスサイのほど裏はれ、相常は、これのにもスカーフへの未練も強く感じられまして、をいものです。で今年のスカーフのモードを調べて見ませうの観さ、服装を置いましてはやはり機から、服装を置いましてはやはり機がら、服装を置いましてはやはり機がら、服装を置いました。倒さるのほど裏はから、焼みつのある色調がものほど裏はれ、せいん、多くてはいい。

すり入れられてるます。 ◆総び方はを製さ其の人の館み ・だり、一定の型にはめられる電館 たり、一定の型にはめられる電館 たり、一定の型にはめられる電館

まろき山々空に波打つ

シンで二個三十銭より七圓位まで(ナニワ洋行調べ)

奉祝生花會

滿洲事變の記念日

滿洲事變二周

ませ、又薄荷なご差支へないでせ

早く醫者に診て

ひますが身體にごんな障りが御 ませうか、ごうぞ御教へ下さ

たのでそれを止めさせたいと

全滿婦人團の活躍振り

B

◆…秋の柔かい陽ださいつて簡 を整、御鶴に不調和にならの程 でせう、洋奘の婦人方もできるだ でせう、洋奘の婦人方もできるだ

の美容についてお ff ひ しま容院態飛千代子さんをお訪れ

温みのある色調を

形でこの残さ冬ものに飽かれず取れた概行が、今春の延長のやうな

千年 一の

1.

調

ス

力

よほご辛く焼けつきい

結果の上からは

月

一般の來點を搬運する、なほ湖月上の間苦心研究を輸出て得たされるはが響いとはに感覚を

◆・・帽子は流血器に少量の揮要油で水をさりブラシで洗滌します洗してはいけません、洗ったち帽子の木壁にはめるのが正常でが、繋がなくても揮撃油ですかけます。

然に泣く人々を幾極さなく紹びつ が、スト切っての「懸の取り持 が、スト切っての「懸の取り持 が、スト切っての「懸の取り持

し 器識無の「ナ つわりの時以外語

お賞ひか

さい

月

L-8-2

入盛花敷十瓶及び盛物を出陳して

ずである

の子帽夏

フト帽に変わり

領点極電三六人以上

嗅ぐさか砥る程

洋服類奮裝

此の賞讃大歡迎!

に白熱的・

グお求め下さ

やつて見たい絹枝の役

栗島

すみ子様

筑後屋 暫店

つて下さい。

パナマ帽を快な

でせう、那で帽子を塞ならにされ事は家庭ではやられない方がよい

から歸つて

からない、その陽焼け 手袋、バラソルはぜひお忘れにな外にお出かけになる機會も多くな ここをお変めします、和服の方も快い秋の陽を浴びて、戸外に、郊 度につばの殿いお帽子を被られる 秋の陽焼け心得帖 り 手袋、バラソルはぜひおぶれになり 手袋、バラソルはぜひおぶれになられ心臓が欲しいものです。

の時念水で洗ったり、

がよくほてつてまるりますが、こ る事はよくありません、必ず微温 といた後職骸水をガーセか脱脂総 ないた後職骸水をガーセか脱脂総 できるこれのでは、後にオリーブ油に亜鉛薬を等分に選ぜたも でいた後職骸水をガーセか脱脂総 に返して、冷罨法をやりますこと へん皮膚に効果のあるもの

す、情監の中脈につけてある皮は、情監の中脈につけてある皮は、現りがします、リボンについたで、 一部は一部の中脈につけてある皮は 0

隅には夜な夜な一 ☆…アダベ ガリアのアダ これは又珍し 一人の亡命ロー 市一流の にこの大を無機すればいい、物言は角質の水光彩内はもつぼを振り あって楽いて行くだらう。 — 後 はたゞこの窓内者にまかせて配け はたゞこの窓内者にまかせて配け はたゞこの窓内者にまかせて配け に高乗り・Kなのだ、大の起人は

ひがある毎に歴はれて行けばよいひがある毎に歴はれて行けばよい 今一人の珍酷賣。彼はたど

「紫仕」に黙して金二碗也を専受すると言ふのである、彼はこの る處、その葬職はきつさ「成功」 彼の出席す



「金環蝕」を讀んで

は

《問》 昨年九月に流歴した娘が 嚙んで困る を ・ 土居 八段 ・ 大海 への如き状 ・ なの意味なら、其の の意味ならき、其の をの意味なられる。 ・ なのできた。 ・ なのでは、 ・ なのでは、 ・ なのでは、 ・ なのでは、 ・ ないから、 ・ ないがら、 ・ ないがらい

夕

ど様に食物に好き嫌びがあり困つ又班娘したらしくツワリの時さ同

▲▲▲▲ ▲▲▲▲ 七七七六 五六五七同七郭 五七六五 五柱五五 七頭

金五六•七金六七

少女 步步 步步 少少 少少 少少 少少 少男 大小 少男 大小 小男 大小 小男 在 全 全 代 香桂玉

出されて居ります。小語を明ましました小説は一番初し易く、有難いのです。 た小説は一番初し易く、有難いのです。 を聴すといふ悲戀物語になるのおやないでせらか。さ うだつたら、喜劇よりも悲劇、派手なものより淋しい もの好きの扱は、ぜひ若返つて網枝の一役を勤めて見 たいと切りに誘惑されるわけです。

『キング』十月號の『全職』は、その主人公三人の 性格がクッキリとよく描き の小説を映響代致します場合、思う に易く、有難いのです。

想される大波瀾

律子

特選新棋 平手 本寺田梅吉 山北孫三郎 戰年

がは、愛つたものな は平素の體質が

の機な病気の時に

-- [6]

ク十月號に 0 久米

東海道をようとしてある。 に何ともいべず面白いと思ふ。第一回を南 たやらに太端と月とを無し合せようとしてある。この たやらに太端と月とを無し合せようとしてある。この たか、既に何ともいべず面白いと思ふ。第一回を南 方共武んで見て思ふのは、この兩文豪が、いつまでも であるといふことだ。『日像月像』は都會の君き女性 であるといふことだ。『日像月像』は都會の君き女性 であるといふことだ。『日像月像』は都會の君き女性 であるといふことだ。『日像月像』は都會の君き女性 であるといふことだ。『日像月像』は都會の君き女性 くり、少年の時の様な気持で、次が待たれてならない。 の小説の型が出て来る。『金塚絵』はとても面白い。 の小説の型が出て来る。『金塚絵』はとても面白い。 久米先生の小説は、いつも文章がされいでなめらでよみ易い。僕はどんな立派な小説でも、よみにくか説なんてごめんからむる。 兩互匠の新作を讀む 最大の光輝 のことを書かれてゐるやうで愉快だ。 大下宇陀兒先生 サトウ・ハチロー先生 でしめすと、きつと後からそいつも時代に一歩先んじてる

知りを置んだおけで、軍港の あだやかさ、権利のさはやか あだやかさ、権利のさはやか あだやかさ、権利のさはやか であるとした 正雄先生作

東池先生の『日優月像』は、最 東池先生の『日優月像』は、最 東北・息もつかずに拜見させられました。 派に長後で、識が取中尉が、がの奈美江を愛してる 派に長後で、識が取中尉が、がの奈美江を愛してる 派に長後で、識が取中尉が、がの奈美江を愛してる が上流階級の家庭にありさうなことで次回の大波瀾 のに、世親は明朗な妹の解聴をするめるなんで、何 のに、世親は明朗な妹の解聴をするめるなんで、何 が上流階級の家庭にありさうなことで次回の大波瀾 のに、世親は明朗な妹の解聴をするめるなんで、何 三上於克吉先生



販賣店、

發賣元 亁 卯商店

東へ方に間違ひはありませ で御座いませうか。お乳の で御座いませうか。お乳の で御座いませうか。お乳の で御座いませうか。お乳の 奥へ方に間違ひはありま

若し牛乳やミルクをお果へ たならラクト ーゲンをおす

うめ致します。

御承知の通りラクトーゲン は先年京都帝大醫學部小兒 は先年京都帝大醫學部小兒 した通り、人工榮養品とし て最も優秀なもので御座い ます、のみならず多年の經 はたつて證明された優秀 々から絶大の賞讃を博しつ な育兒成績は世の多數の人 うあります。

に是非おする致します。 一ラクトーゲンで御指定下さい間違えぬ縁必ず

藥店食料品店

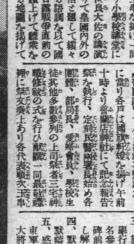
念

H

上から新京の慰園

営口の事

世良大佐の講演



記念祭 普蘭店の事變 日満聯合の大演習

月九年八和

順における慰霊祭

つて講演や映畵會

第洲事變に於ける重砲の活動 | 管に對し打電す

意を表し併せて関下の御健 則軍司令官並に愛刈軍司 る處があつた

備司令部にありて戦略に必死さな 右流智の統監中村司令官は南部智 成の生命で財産は、秋晴れの省

日満美妓の踊り

長へ電報にて感謝

B

報社

變記念

を記述としている。 を記述を含めていていたくまで練り廻り を記述を含めていていたくまで練り廻り を記述を含めていた。 を記述を含むな。 をことな。 をことな。

の實況見る如し

卸出立本業

醋調さかい本店

捧歉、部局員列拜同十時三

上慰問に

の足にて遊園地開園式に赴

文局長を命ず

在を命じました

九月二十日付左の通り

新任及び解

左部により部念祭を襲行した 金州の記念祭 は三業組合の應機を得て、地では一条組合の應機を得て、地では一条組合の應機を得る。

各自の默轄が行はれたが神社に於渡があり同十時サイレンを合圖にに於て軍事に關する神田伯山の日

吉林の事變記念日

館警察隊及び在郷軍人は主力・治安維持に住じつ・あり、

合圖により一般消燈默礴な同午後十時モーターサイレン 動安な 奥へたが時を同じ 舞踊ウビウ等の 除興數番 戦場病兵七十餘名に

傷病兵を慰問したので 原を贈さ多数参拝の上心からなては同時刻庭療を焼き御本殿の 分間のお職りを挙げ 開原の催

慰霊

禁を執行

・ドテラ(共産)仕立卸 長編幹、銘山 大連市条町 条町ビルニ五

市祭町条町ビル二五市祭町条町

討匪行の犠牲者の

二十日鳳凰城にて

の外を組み日語・一般生態が中心

行事は左の順序に依り盛大に舉行 「常原」滿洲事變の三間年に相當

タイ 紫成英邦交速配英語印書 大恵市大山通 小林又七支店

吉野町 一萬堂 8

大阪市北區天 店名記入申込、 大阪市北區天

- 橋際 電話三五八四番 - 女支那服の準備有 ・ 連高真館畫を撮影

国旗级

が雨天の際は浦州街観場に於て行なは祭場は完備隊悪徳兵場である

「開原」九月一日階原職八棒側において戦役せられる電脇販売が盛において戦行せられる電脇販売が盛において執行せられる電脇販売が厳において執行せられる電脇販売があつた

日本大學到專修大學討論會

家族的に待遇す

近江町電停前 デステムスー 狂犬病 強防性射能行人院放 東共健家音類診療 石井家 畜醫院

高級 下宿網數良金穀偏良 大連獲廠町一八角 加 縣 下宿 衛落數十疊4寸三疊

旅順放送

西公園町六九 電話八二〇三番

モミ治療が翌の方は

学 展・時 計 (大) 海 報 参 法 (本) 本 (本

0150

和金 各種提灯材料即間层 整語七七一四 膨脹

翻大日本雄辯會

一大々的設出助後 紀の側所質店 電ニー大〇四 北京は密東百貨店 支那みやけ部へ 支那みやけ部へ クリーニングは 御使宝富士个

戦を顧 全旅順野球大會評

(四)

も無持よく印象づけらい

満洲事變記念日を迎

全滿市民の捧ぐる默禱

も構能の自信を示して

けてるためは大いに撃ぶべき さしての誇り

E

河合に交替し

喰び止められ てゐた、第 を振った、紫突然一回歌において早くもこのチームは一部級さの 「手は大食中賦一さいつても過話で はなからう、優勝歌において中頃で をからう、優勝歌において中頃で ●二部の優勝市中OBは素人の 見た目に遂ひなく完全に二部の 圏にである。 ・野岐寮一回戦におい 運動されん事を祈る



イワキ町 新古寮 高質質受 **技衣** 装 変 経話二二六四五番 変 緩 瀬 用 こい 売の 買

電話

教實元 日

家政婦派遣

学衣 裳 日薩町 三浦屋

拓茂洋行弘店 電五四三九番

性廣病

満日案内

工藤特務曹長

時出動影像を命ざられた 時出動影像を命ざられた

る ある、事態の程をのも戦う監視の程をを発して、水川の程をを受ける。 ・ 一、本の程をを受ける。 ・ 一、本の程をを受ける。 ・ 一、本の程をである。 ・ 一、本の程をである。 ・ でもルビヤーが年の利でる等域は ・ 大学に対いて表しまいて表しまい。 ・ 一、本の程をを発した、変に我が分遺脈である。 ・ 本地の程をを外間が高いて表しまい。 ・ 本地の程をを外間が高いて表しまった。 ・ 本地の程をを外間が高いて表しまった。 ・ 本地の程をを外間が高いて表しまった。 ・ 本地の程をである。 ・ 本地の程をである。 ・ 本地の程をで外間が高いて表しまった。 ・ 本地の程をで外間が高いて表しまった。 ・ 本地の程をで外間が高いて表しまった。 ・ 本地の程をである。 ・ 本地のである。 ・ 本のである。 ・ 本のであ

横道河子に建碑

「金州」線で金州事職店總子高の 「金州」線で金州事職店總子高の 「金州」線で金州事職店總子高の 「金州」線で金州事職店總子高の 「金州」の1曜日に金州にて開作を 「本社支局が後援さなり之が開催を を選手が金が、これた天候も 「本社支局が後援さなり之が開催を なり年前九時三十分から豊事試験で た各腹が風に多数の脱炎も押かけ た各腹が風に多数の脱炎も押かけ た各腹が高された天候も豊から でありてかが網帯であまる でありますがであまる。 「本社・大人」。 「本社・大人、 「本社・大人」。 「本社・大人」。 「本社・大人」。 「本社・大人」。 「本社・大人」。 「本社・大人、 「本社・大人、 「本社・大人、 「本社・大人、 「本社・大人、 「本社・ 「本社・大人、 「本社・ 「本社

侧長森吉森今顧岡谷松間杉岡安松渡

三十日除幕式慰靈祭

警官殉職の地

年前を顧みて

實戰參加勇士の手記

日

若い藝妓ご心中

女は絶命、男は虫の息

大事に依る時優に十日間以上な要 する此の行程も僅かに四時間位に て理解する出、是等の利便を相談 市の鑑大さはやがて往年のそれを を表して主道政治の徹底から来る広勝

四十数里の甘珠爾廟に於ける廟舎の前奏時でも見られる甘珠爾に於ける廟舎 等の危険、又は外線の國際防衛 の修設は途中に於ける肺臓の の修設は途中に於ける肺臓の の修設は途中に於ける肺臓の となったが近来、國内援 の修設は途中に於ける肺臓の となったが近来、國内援

會式

五十錢銀貨の 偽造犯逮捕

三年間密造し續く

一高温 「長く教師」

[第1] 「新市街千代田飯突き

園遊地開園式

間島4-2(高見(金) 開闢式を日浦合同にて銀行 奉天省縣參事

聯合軍敗る

州內北部對千歲庭球戰

組を残して優勝し本社から客館したメダルを贈呈した經過左の如し ◆第一回収 (干歳俱樂部)、州内北部聯合軍)

経済を で連山 職等の というでは という では という は では という は できない という は 連山關勝つ 官會議

東山側 2100110 税 関 000010

 $\nabla \nabla \nabla$

東京日本権通二 十 發 費 元 十 サドキ部へ

道洗滌の恐るべき弊害の質例二

洗滌の危險

ΔΔΔ

有田ドラッグ

松波博士の感 新京誠忠碑に二度も 激 參拜

(可留物便銀稽三集)

環境好轉に景氣づき

甘珠爾定期市開く

海拉爾から自動車

憲友支部發

平和の鐘樓に醵金

新京商業野外 でしに所なればない。

民態の動態態度を含し黙留の記載で、一十日午前八時三十一分養卵車で一次の動機料土を、二十四日夜は市にの動機料土を、二十四日夜は市にの動機料土を、二十四日夜は市にの動機を表現している。 大概の人には「かさ繁、海棠」

田 となつて出るのである。 ・ 手嘗の結果、一部の様代よど、 ・ 手嘗の結果、一部の様代よど、 ・ 大学のお集合して響い ・ となって出るのである。 り目や面色要の関係で再設するの し時沿ったやうでも、時候の要

を研究せしめあるを以て、速 を研究せしめあるを以て、速 が関係がに設置せる我有田ド では、で加減の

行した

て、何等副作用も起ます、血液や一他に迷ふことなく本剤を服用あれて、何等副作用も起ます、血液や一位に迷ふことなく本剤を服用あれて、何等副作用も起ます、血液や一位に迷ふことなく本剤を服用あれて、何等副作用も起ます。加速や一位に迷ふことなく本剤を服用あれて、何等副作用も起ます。加速や一位に迷ふことなく本剤を服用あれて、何等副作用も起ます。加速や一位に迷ふことなく本剤を服用あれて、何等副作用も起ます。加速や一位に迷ふことなく本剤を服用あれて、何等副作用も起ます。 る諸書を大小便と共る諸書を大小便と共

主りんだ。

に火燈 仁信通 にオヂラ にプンラルナヨシナ

誰 でも山

滑燈三十枚職数

出發的原地より間のが行列、樂

新薬や新發見の の療法

查檢

處の

本劑の特徴は

うみ」去り痛み速く消散す

斷罪刹那の公判廷

一き崩れる婦

『神の御心で判決を願ひます』と

悲痛な叫びの後へ

判決主文

満洲産業開發のスタ 一年の沈默を破り

感慨深~濱町海岸から鞍山へ

日を選町海岸に喰ってぬた製鋼が

汽笛 さ共に二朝も三朝も

でき機械が足かけ五箇年の一般人で作業を終ったがこれから毎一水至十二月に完了する権能の風雨に鳴らされてるた。 めてるた、第一日は寅卓三輔分を「電氣部分等を出してい、何分昭和四年十一月から「寅卓に横上げるのな感慨深く見詰」出し、その後、盧、特殊嚴勝内に引込人で運搬に鞭」あるガーターを纏々さ捨き上げて「ガーター七千戦を来

から歌次に鞍山に運び出すが同所大きいので地頭に蹴揚げしてゐた日報込作戦をついけて遊んだものなま、この外あまり闘性が 大きいので埠頭に陸場げしてぬた

中、常脈並に在極軍人参加の下に、兵大尉後十時野艦後在輝隆戦及工大、旅、東西開東西開放防衛隊は十八日午一驟行され 十八日夜華々しく擧行した 旅順の夜間攻防演習

生皮の搬入を禁止

廻り會ふ

歳の少年

懐しい父に

消毒を勵

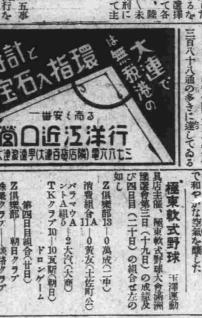
市中望診を施行 四平街で

附駆地搬入を禁止する旨それと に進出して来るのを防止すること 下海では市中望診を施行すること よび機局が離り耐利磁力して都管地に決定、なほ帰市において生皮の 満洲國が離り耐利磁力して都管地に決定、なほ帰かに関連して来るのを防止すること

鐵道防疫醫

の最齢の成功に人々は心から変

原版より作る



といいまする山本物の場合 である東秋であった ができる東秋であった

山河東西



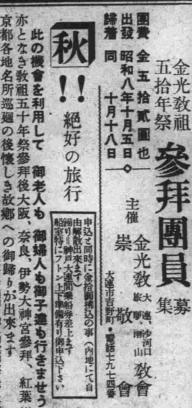


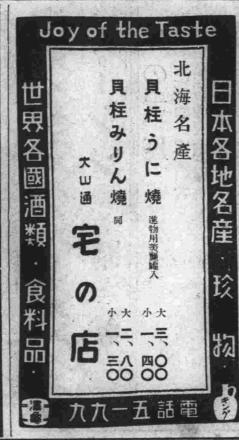


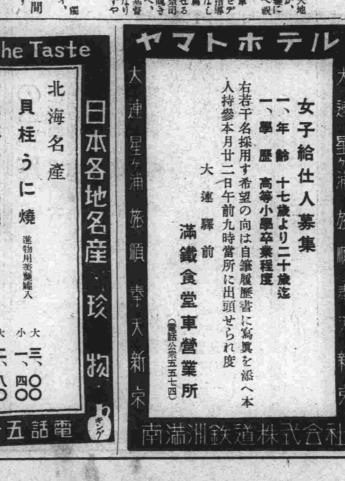












大きな希望抱き來てみたが 青年、 は 自棄で死の 清算

物凄い肉弾戦 機関同家の納屋に忍び 本場は近年に終しい一弥小洋銭の三地順名勝「うづら」も昨今の秋風

國際運輸倉

庫の失火

寺別院では二十日より動彼岸會特別布教

は郵送致します人連市三週間 英、佛、獨

同中学来のお巡りざん塗の優しい世 りを葬れてはるばるさ新京まで訪れ て来た十銭の少年吉田幸雄君は途 で来た十銭の少年吉田幸雄君は途

大阪川東成創使原町沿へがおキで申込天際が高共他海山アリ大阪中央出版計画沿へのでは、大阪のでは、大







遞信



寫版G量

具價ハ品ニ

シドン條約問題、統帥權

氏の統帥権干犯の事

の供述を期間する

旅順名物鶉

根果龍子丸で含質工園五十銭ないまないであるが、距離の は有名なものであるが、距離の は有名なもので大連汽船を交渉 が主催さなり大連汽船を交渉 で大連汽船を交渉 書籍目錄無代 直

平和の王なる基督平和の王なる基督

山禮ががが

頭痛・ノーシン

職们(と)というない。 は古くから知られた漢方の海 さない、病類の法と親切な根際 きない、病類の法と親切な根際 きない、病類の法を一手に出来る を生ない。神類の法を一手に出来る がら遠域はいらな。和歌山 ながら遠域はいらな。 の、和歌山

仮を落ちつかせなくなった。

四等

正規の應募者全部へ洩れなく進呈

(臺灣を除く)

すつきりと

(一錢五厘)五

金廿圓也調勸業債券一枚

二千本

新

かっ

+

+

拔血

U

出地

1:

P

5

ts

一千本

部

かし、次第に募って來る不安は彼は再び笑ひ葉でやうさした。

彼は、なに氣なく笑い寒でやうなあに、あの親分のこさだ…」

こた。が、閉ちた臓の態にふさ一変の部屋にはまだ燈火が貼つてるは、なに細なく笑ひ塞でやう 彼はほしんだ。この歌頭に、なばめに、あの親分のこさだ…」 「――?」

逆者

るもんじやない。大丈夫だ!おれていったって、どれほどのここができ できった。乙をさんの守り役はウンさ率を振り廻した。 かつたな?さうだ。一つ見廻りと を守つてありやいゝんだ。大丈夫はたゞ親分の命令通り、乙食さん の智慧は、奴等が束になってから

大丈夫だ。は、」。親分の身の上に、なんの心配がいるもんか。奴に、なんの心配がいるもんか。奴に、なんの心配がいるもんか。奴に、なんの心配がいるもんか。奴に、なんの心配がいるもんか。奴に、なんが、なんが、

8-57

(11)

颱

卷

(101)

黄色い織の養蔵をした部下塗にんだ映像――

園まれながら、胸に魅力を突きつ



就職前に、そつこ乙変の安否をた 同じ三階の館――彼は、いつも

しかめるこさにきめてゐたのだつ

にて左記へ御送り下さい。規定に依り抽籤の上 営職者へ景品を御贈呈いたします。 蜂ブドー酒の包紙のレッテル二枚を以て一口と し各裏面に住所氏名を明記の上(三銭切手貼付)

東京市日本橋區室町二丁目東京市日本橋區室町二丁目 當籤發表後一ケ月以內 昭和八年十月二十五日前後 當嚴香號各組共通,通信社員立會嚴正抽籤應專鍊定數一百萬口,通信社員立會嚴正抽籤券一枚呈上,一千口一組

木眞

墨後睛!

仕事や勉强で疲れて曇ったり

で爽かに時れます

沖本ブリキ店

五球パリミユペントード組込一式一大球の同じのでは、一大球の同じのでは、一大地のデオを信機各種一有名 世界的優秀最新式豆 ヘテロダイン組込一式 王座 金金金 〇五六 〇〇五 圓圓圓 配 線 監付 カタログ 呈 変郵券四銭

的な洗髪料でございます プーはサラリとおちて乾きが早く近代 は手まめにお洗ひ下さい 秋は殊更フケの出がちな季節です 花王シャン



整髪美を愛で給 ヌ 7 水 7 1.



石界の関祖を連市工程

實用足袋卸 賣 大利山田県山田五七番 山本洋行

電三六九五番

滿洲日報社廣告部

M-48

聽は、の陸軍側

観るれば 施い許りの空氣に支配さ

法廷を包む異常な緊張

れる、この日、西村裁判長は代々 ※人を遊ざけて奥の間に際標気を ・ 七時三十分には島田滋多館、

一方後継続に最後の指令を抵称節室に最後の指令を駆逐のに最後の指令を駆逐の指令を

法廷権の假監に鄧鬱、

的斷

同四年

禁錮四年

禁錮同四

石

禁錮四年

兀

年

禁錮四年

同

市之助

禁錮四年

禁錮四年

禁錮四年高出

祭錮四年 (未决拘留百

元士官候補生

名に對し西村裁判長は刑の量

九日之が判決

禁錮四

同

禁錮四年

昇 木 鈴 治代喜本橋 盛武 村本

地番一冊町園公東市連大 社報日洲滿 社會式株 所行

人賴福

中看板

八田副總裁

第京に起く 新京に起く 八田鴻鰕副總裁は二十日午前の重

關係者

は

語る

『東京十九日養國通』野突終了後 西村嶽地とは完徽に郷を染めなが ら譲る 方が濟まね、今そのことを述べ

議を行ふこさゝなつた

會開催拒絕

「だけど、練田に秘密にお金を借 りるなんて、そんなことは私には 、 出来ないわ」さ、女子は言つた。

の既は、何さかうまく蔵田に語す

議會を開きシムラ會

野して聴いこさだし、それに、たっぱつて、そんなこさは、神田に

滿兩國化

表者の

八的會

商を續行

護渡交渉打開策

の反名を促し蘇浦南國間に積極 南 いい。 の反名を促し蘇浦南國間に積極 の反名を促し蘇浦南國間に積極 の反名を促し蘇浦南國間に積極

ば好いのちやありませんか」さ、「ごうして?あなたが魅って居れ

暗雲低迷の歐洲

長岡大使歸朝して語る

五事件

東子令夫人、 管候補生の親戚石光 情の被告に與へられる法の裁さな

用條交に陸軍刑法第二十五條第二號後段本京十九日發國通」陸軍順被告に對する知

配給病國丸で締 等 した、大使は 配格病國丸で締 等 した、大使は が成本一氏は十八日午後神戸入港の ののでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、 ののでは、一般のでは、一般のでは、 ののでは、 のでは、 ののでは、 ののでは、

▲屋村市平氏(幾備陸軍少将)十九日入港たこま丸にて來連 ・ 大田有共氏(三菱技師)同上 ・ 大田東氏(二等軍警)同上 ・ 大田東大氏(三菱技師)同上 ・ 大田東大氏(三菱技師)同上

主従論を超越して協議が必要。

國首腦部重要

一會商

般軍縮會議

再開近づく

陸軍被告職罪、胸を打つ判決。

を基せべストの防疫。 ・な基せベストの防疫。 ・ベストの防疫。

日養國通』」「經經驗管 な洗偿するものごみらる、更に佛の大変を表して、有會職でエ 女子の自然で再院の軍権会議失敗、なった。有會職でエ 女子を関の軍権の軍権会議失敗、なった。有會職でエ 女子を関の軍権機で再院の軍権会議失敗、なった。有會職でエ 女子を関の軍権機能で再院の軍権会議失敗、よると、 ままれば、 これによった。 これにように、 これによりにように、 これにように、 これによりによいにように、 これによりに、 これによ

平入りの馬、渡は鹿か。 離か出山の眞路を知らんや、北

に関係が ブランデンブルク協奏曲

の路には、二輪車を曳く繋が懐んい金文字や米文字の電板が廊に光い金文字や米文字の電板が廊に光い金文字や米文字の電板が廊に光いってるた。暗舎の部落に通じる扇

四平御に來たさきには、職が更。 にはげしく、實鳴きへ平にした。 て新京は電がありませんよ、あ か何かやつていらつもやるのでせ 「兄なんぞ、今はまるで貧乏人で

さわつてそのまと音車に乗りつ 人の器を左右につれて料理を食つ入りをやれさいつたが、それを つた支那人の金持ららいのが、二次で 職に K君が迎ひに来てくれ バチンと叩きつぶして行く。 など、 職に K君が迎ひに来てくれ バチンと叩きつぶして行く。

蒙

素

描

屯多

多な主

大から乗った三十五六の背殿眼

の旅館は漸載だ。プラリエ

かされ、脳にある私に一つの大き

奴隷の夢き

ゴールド・デイガースの明

ことでは国際 総の様の酸の小部藻は、土壁ににはれた木々の空 の膨慢をそいり立て、これる。 の服舎や、小市街の風景は様に私

でまて、晶子さんたち、わたしが そんなに置荷類を持つてるご思つ ないらつしやるの?私の変複なん 「ちやア、あなたのお兄様に借り お爺さんの人生

告 3. 叙 服

秋の夜長は

「衛生課人電」農安闘東軍調査班より新京への報告によれば同地における調査の結果十九日更に認知の証法を檢査中のこころ十九日午前十時真性と決定した。

一、コレラ防疫の理想は原養の家でことく説明した

を張る

返のペストも眞性

農安地方更に五名確定

差支へない

その記念事業として來秋から

本社で州内外爭奪戦

するには州内外の連絡を密にする 機臓設立の贅成を得たので本なき既態にある、この膨脹を除外。 一ムと種々意見交換の結果、ことを、過大の負擔をなすの餘像 及び黎天清俱その他州外職盟

大連側女店主の言分

することは許されないがしならいけないと思い専門のとなって今度のやうな問めていいと思い専門のといいましたところ、内地のではいました。

問題なし

わりたゞ

遭難機の二勇士

けふは空中から捜査

機関を設置する意味を対している。

商標權の侵害だと

東京から苦情

大連の甘納豆榮太樓

墜落慘死

軍部内を統制

襲擊

の老婆一名が町死と小川 帝中島〇〇名双河纜よ 一二時復鑑した 一二時復鑑した 一二時復鑑した

吉海線で交戦一時間 兵外一名は軍傷を買ひ 滿洲國軍附小川少佐外 を經て販を緊張す

◆新荷スカーフとマフラー陳列

陳列

◆秋冬洋服地新着品陳列

かさの診定な下し又遺暫に男が病のてなるが、この監所物が河口署とあるも外見頗る頓文な體格をしてさい。

滿鐵本社前 黑煙濛々

苦悶中を夜警が發見

脱震場にて突然嫌装用コレルタ 九日午前十時半頃、滿蹶本社支 タールに引火

年前十一時頃馴染客さ | て花蘭樓のふくぼで男は馴染客でして地質では直に肚丁、夜 | 郡岡田上村学小俣にいかる丸火夫 | 北いかる丸乗組黄原籍京都所加佐地方では直に肚丁、夜 | 森下寅酸(2m)を外供にいかる丸火夫

の岩間で苦悶してゐる の岩間で苦悶してゐる

行した處、男女二人は、直に派出所より係官

頭痛ニノ

昭和八年九月十九日
店員田島教

連鎖街 大和屋洋服店

淋病の

柳樹屯稻荷秋季大祭 討発

五十分戦火した、長下原因取動 機器は軽微なるも場所柄だけに執 物中の消機マンや輸火局が飛出し 移中の消機マンや輸火局が飛出し が表した、裏下原因取動 が飛出し

白衣の勇士

けさ凱旋

八十八名

主演は、新しく生れアンナ・ステン嬢獨しウファ超特全發擎映書監督は、メリュテのエ・ア・デュポン氏獨しウファ超特全發擎映書

泣き笑ひの人生 空の戦慄篇 つばさの天使

開設事務及び臨時傭 重大事さして滞職では十九日午前 完通要籍たる四米線及び首都新京 完通要籍たる四米線及び首都新京 鐵道部で對策 北東の風晴時々雲 浦潮(午前 | 〇時三五分 一 京 | 〇時三五分 予報 初日忽滿員札止め 禮申上ます

數字は九月十日正指定都

水屯の防疫

主伝村川尊士を選へ防疫事務に購一り意地方事務所に消滅衛生課防疫「

既いたその結果

防疫會議

所を新設する 滿鐵重役會議

雅市民各戦艦の萬歳裡に一路門司に 北市民を戦艦の萬歳裡に一路門司に 北に黙し山根特称階長平癒の暖 き再び渡滅するさ力強く答へ一般

九日午前十時出眺事義丸にて送還 山根特務管長以下八十八名の歌像

中込所 崇 一 敬 會

日中旅順に於て行ふこ

◆二十日より…

追撃中である、なほ戦死者は吉林県以下○○名の来級、潰走の戦を 長崎 直航

死したるくぼ) キュービー マヨネーズ

DHOK

秋のおどり公演

·快樂名妓連出演·花柳壽美彌師振付

(御入場各位抽籤にてコロムビアレコ

兩員御禮申上候

船員が藝妓と心中

霞半島で

秋晴れの行樂にも

今晩ご明晩限り

贈呈)

毎日のお食膳にも 東店ラウ 大和ゴム

もの

ハンドパッケが 浪速町

戰話五四〇九番

金・ボイル球を

月やくの御手當は……
「田」 歌も早いが肥野、あれこれと迷ふのは薬物です。それには水い間野験を痛みを繋がら信用を繋いて居ります本際のつた。薬を、おすゝめいたします。こった。薬を、おすゝめいたします。こった。薬を、おすゝめいたします。こった。

安田 南町、海町、名古崎、金澤、京町、大阪、毎月 乗る。安田、町町、海町、名古崎、金澤、京町、大阪、毎月 乗る。安田、本町、大阪、毎月 乗る。

青春春 キング連載

H 活 盤座の映畵観賞會

常盤座の映畵観賞會

この等特別を開上六十段時間を受ける。

滿洲日報

る後待割引券

あい、私が入れました」 何新選さんがお入れなずつて、

ゆかなければならないのでござん

盡暴風

の處女』觀賞會

常盤座·讀者優待割引

後援

H

社

「だってきって

のは、御新造さんがやござんせん 即親分を座敷率にお入れなすつた のは、御新造さんがやござんせう。 郷五

際右衛門はすつかりお濱に引すら

がては博右衛門を女鹿屋のあ

治淋劑の權威

井醫院

内服錠剤の併了

東右衛門への宝む。また、私が 中つてお目にかけますが」 一度でも、郷五郎に思た被せて 「たった。何の遺作もなく、私が

手中だったRKDのこと でである。コングしを練って統

してゐる向きがあるやうだ

鰡五郎親分に、思なきせるくちぬ

選氏だから實現するだらうさ相當

中から、郷五郎を助けておやこれから小梅へ行つて、座敷学

「大層旨い話だが、さ

作

(203)

では、そんなに漢面目な顔を しなくても好いさいふ事さ」 しなくても好いさいふ事さ」 を使同然の私です、いくら御新遊し行つても、女鹿屋にむても とたら、もう田臓にも家はなし、 あの駄馬鍵が、お前さんな思に被 を助けてつれてかへる、そこで、 かえ、そこがそれ、

美人夜叉 CID

橋が続りますよ」

社會式株造製みなかわ 元 造

店支京東店商井岩社會式株 店理代出輪

かけっても、小

意にかゝつたのは、かれこれ、八 つの鰡(午前二時)を降いて小半 時もすぎる頃だつた。

んちやないかれ

検えでが、お前のふころへ自然 それでは行ってまありますしさ

協和會館映畵

昆末粉製精 布

わかなみの一杯は・・・・

料 榮味美の初最界世

接十圓一 入五〇六二 鱅 大 接五十五 入五〇一一 鱅 中 接八十二 入五〇 五 入 瓶 錢一十 入五 五 一 瓶及普

際観光局の「日光」「瀬戸内海」早川雪洲主演「楠公交子」及び國

太秦養聲映画了のオールトーキー質館で開催されるが、上映々画は

連滿鹼社員俱樂部主催映画會が

『楠公父子』上映

黄大人三十錢小人十錢會員外四十

賢漫画、想出の映画

れ作を美」るふあと康健るれきちは

濕液布劑狀 X.大7 威

日本賣藥盤大連支店 ソールの温布に優るもの 肺 大三〇〇0gg 1.110 李胜 和 光 蒙京市韓田區銀治町九大阪市京阪市韓田區銀治町九

コトヲ



山通り

本格的美容料 ノ化粧品 宣傳賣出し

マネキン魔美木美都代子末連実演御説明申上げます。東京より 新時代の効果的優秀化粧料 朝 ... 一服 に かそられ ものは求められのとご評判ですにも、美肌料としても是以上のにも、美肌料としても是以上の 会社 金 商 洋 大 京東橋本 社会名合置玉 店理代總



・・ラーも出るに至った、質手は期間で、野野られた、紫米常香品騰の直接に 関連られた、紫米常香品騰の直接

『東京十九日登園通』野来総替は 一年後は午前より更に二ポイント島 をして質レートは今月物サ七邦四 の三、来月物同八分の七さなり

矛盾があるさな。

貨物連絡扱再開

既に今日滋養多の物性が电告連れ 告連れのものに對しては密輸出を 皆進れのものに對しては密輸出を はあるので見做し、これを選載し では、これを選載し 税關側の意見な矢田監視部長

滿鐵對郵船

で 様な 考へ 方であつてはいけ 税關側では當然だといふ

立
タ
々
の
主
こ
ろ
税
關
さ
し
て
は
こ
の
き
っ
の
さ
こ
ろ
れ
で
も
多
く
あ
る
こ
こ
さ
信
じ
る
、
や
つ
て
行
く
考
へ
で
あ
る

提案三十二件 注目さる」商議聯合會

・月三、四の殿日ハルビンで ・出の縁続は主催者ハルビン ・出の縁続は主催者ハルビン ・最新で取締め中のこころ最 ・一覧・在滅高工會議所滿緩補 ・一覧・在滅高工會議所滿緩補

たり、また目下登南版には八の場がのた電信電話會社の電報料値上できて安東及鑑賞・風徹上できて安東及鑑賞・風徹上できて安東及鑑賞・風徹上できた。

満洲輪船公司が

沿岸航路開始

春海丸外

五隻就航

對英米為替續騰」

主な原因は弗の思惑賣

心ないこさになった 満洲商工會議所聯合會

シンヂケート銀行團

滿洲視察者決定

から見て四ポ八十価密送上るもの、 ・変であるが、米英クロスは上げ足 ・変にた二十八ポが段標に置かれ ・である模様である

職東州内及び滿寒沿線に施行される外域線を企ぶ布するが、實施期は種々の關係上職会公布であるが、近く動会の公布さ共に今月末職会を公布するが、實施期は種々の關係上職会公布である。 外國為替管理廳令 今月末公布の豫定 實施期出十 一月一日か

【東京十八日養國通】滿難より過 につき、各シンデケート銀行に難し、 につき、各シンデケート銀行に難し、

九日養電」北海道殿では、その解釈を申込んだが、その解釈を申込んだが、その解釈を申込んだが、これに難し連続金八十萬

を決める、さうするさ國民に對して登然での方針に準握させそれに のである、次に節単法の一つの特 色さして考ふべき監はその概本法 のである、次に節単法の一つの特 のである、次に節単法の一つの特 がすりがある。 を記して考えべき監はその概本法 を記して考えべきに行ばれる を記して考えべきに行ばれる 家が或る方針を決める、或は政策はその特性を最も現じて居る、國 はその特性を最も現じて居る、國

五百萬圃を来る二十一日倫 五百萬圃を来る二十一日倫 元常のため産金五百三十六

大豆强調

百萬圓を

况千九世

目的と運用に就て

青木一男氏講演要領

外國為替管理法の

前には恐らく法治國さか、議會政

銘酒桐正宗の冷卸

省令さいふものを改正す

て銀行することに決定松田場長か 年前十一時半より同試験場におい 年前十一時半より同試験場におい 闘する

場式舉行

鍼灸治療

天狗堂 石松吾七郎 大連市達坂町百四十

常

短女はなど死んだか でないなどで死んだか を 糸路・松林清三郎主演 郎太龍柳青·路糸 琴·輔之純山葉 演助・郎三祭本松・ねかあ野久・郎三田本松

単一で、 ・バラマウント特作養学日本版。 ・バラマウント特作養学日本版。 ・バラマウント特作養学日本版。 ・バラマウント特作養学日本版。 ・バラマウント特に養学日本版。 ・バラマウント特に養学日本版。 ・バラマウント特に養学日本版。

手形交換高(十九日)

※帰□録で●四十つ

魔票 誘 ? 惑

十十段级

申告漏れの輸出品

滿蒙輸出組合

行商除派遣

新大豆績い

駐在員も設置

沒收は酷に過ぎる

海事關係者等が非難

を開設するとになり、大成丸(二 ただが、大成丸(九月二十日根室)をだが、大成丸(九月二十日根室)を配し銀月一航海の像

根室大連間開航

工業化學會漸洲支部長

場方要望の件(ハルビン前機提一 新京取引所に於ける銀資先物上 新京取引所に於ける銀資先物上

和蘭銀行は態引歩含三分を五厘引

ではい、第一船を海丸は では、第一船を海丸は では、海上保線及び乗客の は、後来の無は、 である、 である、 ◆ 浦籔から招 一上銀行騰浦 一上銀行騰浦 人人選が決 十月末 | (公) |

石さ鮮銀の松田

見られてゐる

金早合 額渡計

印度麻袋 印度麻袋

大阪棉花

か打開せればならの重大難關に直撃が立てる農民当行とす

ても従来の際総能の産業権廃設置 焼き農務局にその党家を命じてる じ、別に暗和七年度より實施中のたさの臨時能の産前にはなつてる を認め、後藤黙健も大體同意論に 農事或良なごに毎年一千萬個を按・今回党家せる政府神像滅反忠家が に態じ権秘訟遺を緩和すべき必要 地影理、開墾脱成、用排水能設、今回党家せる政府神像滅反忠家が に態じ権秘訟遺を緩和すべき必要 地影理、開墾脱成、用排水能設、全国党を持ており、別に昭和七年度より實施中の大き回党をせる政府神像減乏に使いる。

米、に悩む非常時日本

ぬ宿題

通する米穀非常統制家を考へ出し、おの補充施設さして内地植民地を

口の増加率を避かに破職してゐるが今日では六千萬石以上さなり人

農林當局惱む

滅反案の施行と

矛盾する増殖の調和

・ 大日養國通 十九日の定郷職議は ・ 大日養國通 十九日の定郷職議は ・ 中部で養事業に職し現在十五萬七千 ・ 東京職と現在十五萬七千 ・ 東京職と現在十五萬七千 ・ 東京職と現在十五萬七千 ・ 東京職と現在十五萬七千

印刷服

車に乗る事を許されないので一行一は人力車で

シルホテルに入つた

支店及び代理店は園内並に外園記が買へる國際百貨店トルグシンの

資源局長官決立

定

川久保修吉 局事務官(二

局長兼臨時產業合理

川久保商務局長轉任

村瀬 直養 法制局夢事官 法制局夢事官

詮三

るここを信じて疑はないのである。

長社望展業實

波

戶

但し駐兵量に屈伸性を與へ 共同國防の實を發揮

日本製鐵會社

施行令御裁可後公布

院職選=遠東銀行本店内 海拉爾=同支店内 海拉爾=同支店内 海洲里=勞農商船隊 高洲里=勞農商船隊 下津=中央購買組合

に中島酸松沙

代營

百貨店

外相首相用談

【東京十九日發國通】日本整級會 從252本於京 東京十九日發國通】日本整級會

支援へば制限

近の地で出鉄するが機楽出帆は十年出代が公地で出鉄するが機楽出帆は十年出代のはる

古賀氏留學 昨年度に留

歐亞連絡に

渡漏に際して

日滿官民諸士に

御挨拶を述ぶ

豪華列車

ソ聯邦が運轉

の視聽悉く日滿の融和に集まる。

しみ、樂土を欣ぶ。而して今や世界 去り誅求無し、萬民こ\に王道を樂 芸の武が國の成立より一年有餘。兵匪

件(十月一日) 極貝 詮三

敗北主

を清算せよ

の覺悟

設會にて演

松岡洋右氏演説

序を以て一部附加したい、レ

徐するさ言ふのである

定例閣議一原第

って再会する事を続いこれにて設 会とた

全印紡聯代表ど

我民間代表會見

印度側我諒解を求

澤田全權一行 シムラ着

【シムラ十八日 愛國通】澤田 全権

現日本にお ではインド郷督町司会館の帰自航 いまに對する 氏等多数の出迎へを受けたシュラ シュラに鍍着三宅郷領事へイリー

る意義を持つ日であって、我民族 演說要旨

ボンペイਿ総職合館長モーデイ氏 輸入税を引上げた結果日本にお を管代表さの館見において劈頭 過般印度政庫が日本品に對する を後日本民間代表態と登取度紡織 の如く誤解を求めた は取度球職の關税引上げにつき左

家の職体に触

家の損失は國家

隣邦不侵條約 ソ政府の批准

林滿鐵總裁

本誌は選に記者を派して在滿先輩

自繩自縛

我が國民の多數は今や西洋の物質、界一であらうこいはれてゐるニニズムは固より我國に行ふべか 名付けてゐるが、車艦の豪騰にといるまでもないが、ム て浴室其他腔儱の完全なる監は後の家職にと きのふ首相訪問 支那新輸入稅則 改正案作成に着手 惟ふに多難なるは滿洲國の過去に 本の生命線にして、東洋平和の樹立 の第一歩なり。東亞を兵火の巷に投 ずるか、將又平和の方途成るかは、 著かりて滿洲國の將來の成否如何に あり。我等の覺悟も又重大なりと言 ふべし。 諸賢の御奮鬪に接し、今再び滿洲國 地意なし、日滿の健全なる發達と國 運の隆盛を想へばなり。 指針たることを志して此處に六年月 指針たることを志して此處に六年月

日に及べり。

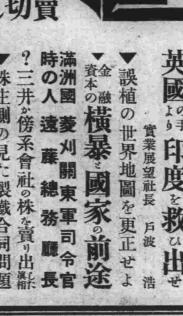
ぎず。伏して懇願する次第なり。 御鞭撻を賜らば我社の幸甚之れに過 願くば在滿先輩諸賢の御援助と、

陸軍歩兵大佐・樋口季一 永井拓相の受難 増税はナゼ困難か?

此の外有益記事

英國の手印度を教以出せ 實業展望社長 戶波

▼誤植の世界地圖を更正せよ



群的側部を通路の歌像に四軸各国 開放生活、開発歌楽の表演 で間に関内のみならで更に並 では、関内のみならで更に並

所にき対通経に使り大連港の輸出人 の特殊は戦闘を討さないさいふし の特殊は戦闘を討さないさいふし のもあるが、それは根地である、 のもあるが、それは根地である。

を 1、であらう、況や著しき目前の低い ある水素工業変配その他手間の配い ある水素工業変配その他手間の配工業及び記き解来必ずや賞現せら

新さの如く運輸交通経過性格の新されに依つて北浦資機の解

て必死病勢の喰い止めに努力

承認一周年を迎へて

を結ぶ変通時間は、現在の七十時間が五十時間内外に短幅せらるる

てはならないを思ふっ

制度に関する資料な陳列する

一様の態策を来じ、月十二日以後四

神道は微道について見ても今日 満洲國の交通機関の目費ま

なれば、現在大

力は少

整の交通機器は重量機能に依りては普及を見るに至るべく、之れには普及を見るに至るべく、之れには普及を見るに至るべく、之れには一般に一般に対して機能はあれる方とでは、1000円のである。

二時間內外

國記念ポス

タ

配付

滿洲國の交通槪觀

建設され行く満洲國

動員の姿にて、

策は急を要し、

のものなれば

病菌の大都會に

生命の危険に晒さるゝ事も戦

聞びて、漸次絶滅な期待さ

の如きは最も恐るべきである。

四散せるもの多かるべく、極力

病氣は各地にて試験の結果、

社

說

向つてゐるから、特に一般的に

奥へざるに努力すること、

こさ、亦最

北鮮鐵道の移管

継帳ね終了

八事異動一應打切り

の共同防疫斑によりて極力 別職事務は大陸一段家を告げたの定を見管理局の機能も決定ことに 調に進歩し、人事引線前の鮮銀局北純銀道南銀移管問題はその後順 微道部人事係主件青柳亮氏は浸水鮮管理局庶務課長に就任する さの地域・管理局内に保地圧を置かれてある。十九日午後壁が整理されて高等で観を配置の要が くさすれば高等で観を配置の要が て不可能であることの専由が暴け に忙とい青柳氏は語る

がであること (二) 職制上これを製であること (二) 職制上これを製作を製造しないことがその機能に伸縦 即ち大陸消滅々道事務所の現機能ないここに決定したここである。 を設けず職制上係主任は任命し (一)管理局の世帯が現在の小人

村全滅の箇所あり、

酸鼻極まる情景を早す

少將は十九日

アシを刈られて 動けぬ遼河の殘匪 滿良少將歸奉し語る

部刈取られるここになつたがこれる 滿鐵技術者採用 千名に達す

が、難道部の三百名の外に起聴局。 を行ふここは野戦のごこくである する事さなつた が、難道部の三百名の外に起聴局。 な行ふここは野戦のごこくである する事さなつた 大部分は雇員級

態を来る二十四

◆戦祭日に於ける國施指編の率が 記念日及び漸洲事變記念日たる 記念日及び漸洲事變記念日たる 画が森にひざい、編画心 ・変観上並びに桔梗町 ・変観上並びに桔梗町 ・変観上がはたり人々の

宿舎が不足で困つてゐるが

旅順憲兵養成所

示試験場開く 廿四日開場式を舉行

「ハルビン十九日菱岡通」 類事は本日午前九時四十分菱州車 で満洲領事會議に列席のため夫人 で満洲領事會議に列席のため夫人

日滿公會堂

經費五十萬

圓を投じ

明春四

月起工に決定

設備を整へるさ





少年限あたり

◆満州電信電話 反つて電報料像 反って電報料像

動は生れて関連

生徒募集 英和タイピスト學院 滿洲特約店

西本の八巻

我が立つ峰のひと時の色

峰の岩根に咲けるなでもこむのづなる山を造りし公園の

●流行色さらてはやはり秋から ●流行色さらてはやはり秋から をのものだけに温みのある色調が をのものだけに温みのある色調が

り入れられてるます。
◆網び方は左繋さ其の人の筋み
に從って、前で懸細びに叉機の方
に從って、前で懸細びに叉機の方
で結ばれたもの、扉で粉んで垂れ
がり、一定の壁にはめられる傾向

南山公園

よろき山々空に波打つ 茂り合ふ濃みごり深き一色に

色に樺色のやうな色が中心にな

シンで二圓三十銭より七圓位まで(ナニワ洋行調べ)

◆…秋の柔かい陽ださいつて簡 を整、御鶴に不調和にならの程 をでせり、洋奘の婦人方もできるだ でせり、洋奘の婦人方もできるだ

カーフへの未練も強く感じられます、婦人服な機管にキリッさ見せるためにもスカーフは酸方のネクライ同様に最も関連な無持で選挙を利同様に最も関連な無持で選挙

立ちそめる秋風にス

形でこの秋さ冬ものに飽かれず取れた棚行が、今春の延良のやうなザックさいつて波形の縄を横に入

■温みのある色調を

や脂肪の少ない方は益々肌の

殊に皮膚の繋い方

スカ

がよくほてつてまるりますが、こ

一般の美容についてお 師 ひ しま

戶

から歸つて

の時念水で洗ったり、

つかり搬ひ落してしまび、リボン に取り外します、リボンについたは取り外します、リボンについただ分すみましたら薄い酢酸を適した。 たい 産が

秋の陽焼け心得帖

ープ油に亞級率を等分に混ぜたも 湯でざつさ洗び流して、後にオリ

おいた後硼酸水をガーゼか脱脂織のなべットリ塗り十分許り放つて

へん皮膚に効果のあるものです。

般の来既た飲迎する、なほ湖月

◆…帽子は流聴器に少量の揮簧油揮製油で油を拭きたります。

ひなさい



私何んさいふんですか、い

本人離れのもた頭かさき理智的な ・・・ 繰のない健康組な続で元氣よく が最もして下さる。 え自分が好きでやつてるる

消費組合・二浦福子さん

たり撃蛇時代のお友達のここ者へたり撃蛇時代のお友達のここ者へ かされます、私自分の仕様で患ふりでやめました。姉妹は五人ですのでやめました。姉妹は五人ですのでやめました。姉妹は五人ですった私だけが變りもので何時も家のが私だけが變りもので極いた。 さ以外に氣をさられるやうなこさ ここもあり

それに性質のせるでせうか、全部

多い時です

おたしの結婚観 日本人離れのした朗らか て下さる方 3

指導

雲は炎さ燃ゆるばかりに ものべは手にもさどくか秋 さものべは手にもさどくか秋 模様は横縞、発縞、 り合はせたものが最も人

の顔さ、服装金體の調和を先づ計

会を開催、青山御流生花帯月式投 二丁自佐藤勝月鼠社中が気戦生花 二丁自佐藤勝月鼠社中が気戦生花 奉祝生花會

本洲事後の記念日

全満婦人團の活躍振り

中部試日

中部試日

中部試日

中部試日

中部試日

本流目の大連

早く醫者に診てか(娘の母、妙子)

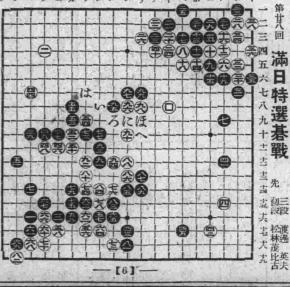
るで質点に家に聞るやう 行さまず、殊に覧消戦C ? 矢つ張り滿俱の方を知つてます

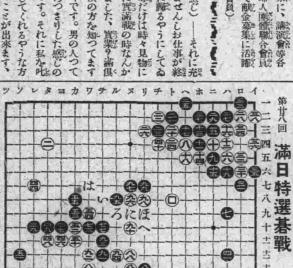
きかん気の性格の結果でせられる

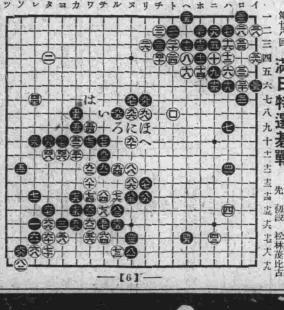
Œ

雄先生作











で際に食物に好き繋びがあり低つ 又焼焼したらしくツワリの時さ同 咽んで困る でもナフタリンの香

段解説』山北氏

◆◆◆◆ ◆◆◆◆◆ 七七七六 五六五七同七事 五七六五 五桂五五 七團 △△△△△△△△ 同六六•四同四六同同 金五六•七金六七 寄步歩•馬石馬銀銀桂

て金二碗也を申受

にこの大を理像すればいい、物言は白愛の水を探内はしつほを振り おりの露壁に、泉ふ桃土淑女の間を ねつて鳴いて行くだらう。――後 はたゞこの総内者にまかせて置けば萬事の・Kなのだ、泉の地人は 大のが、大のがは人は 人の珍酷意。彼はたど

步馬桂 金 _ _ 9

□ は七六歩迄の局面1 六段 本寺 田 梅 吉 六段 本寺 田 梅 吉

地すで響になります(岩からなさい、薄荷も少々は

たり下手な洗濯をしたのでは指針 たり下手な洗濯をしたのでは指針 バナマ帽の館へてゐる氣品さを失 つて了ふ評りでなく、高微なもの を塞なしにしてびひます、で今日 はその始末法を質ドライ酸食の師 のがり塊ひました。 で今日 が出来される。 で今日 がました。 でかり塊でなる。 で今日 がました。

これは又珍し

ガリアのアダ ベストに現れ

は、 日になる時は火氣に充分注意を振り をでいるりません、なほ埋鉄油を御使 では、ならば火氣に充分注意を振り でがありません。ならば、一般でありません。ならば、一般でありません。ならば、大氣に充分注意を振り 洋服類奮裝 **筑後屋的店**

帽に変

特選針新 のて少々位は兵器に堪

時以外にもありますが、

お求め下さい

さなく結びつ

たいと切りに誘惑されるわけです。 たいと切りに誘惑されるわけです。 新地先生の『日像月像』は、最 一般に最後で、歌之助中尉が、姉の奈美江を愛してる 一般に最後で、歌之助中尉が、姉の奈美江を愛してる。 一般に明朗な妹の解聴をすゝめるなんで、何 をのに、世親は明朗な妹の解聴をすゝめるなんで、何 をのに、世親は明朗な妹の解聴をすゝめるなんで、何 をのに、世親は明郎な妹の解聴をすゝめるなんで、何 をのに、世親は明郎な妹の解聴をすゝめるなんで、何 とのに、世親は明郎な妹の解聴をすゝめるなんで、何 とのに、世親は明郎な妹の解聴をすゝめるなんで、何 とのに、世親は明郎な妹の解聴をすゝめるなんで、何 とのに、世親は明郎な妹の解聴をすゝめるなんで、何 とのに、世親に明郎な妹の解聴をすゝめるなんで、何 とのに、世親に明郎なが、姉の奈美にを要してる。 にされて居ります。小説を映電化数します場合、ほうれて居ります。小説を映電化数します場合、ほうれて居ります。小説を映電化数します場合、ほうた小説は一番粉し別く、有難いのです。
ないると、は、その主人公三人の間でないでせらか。され故にそこに悲劇が起り、結局は二人の青年から姿にする。というとない。ま態が認になるのちゃないでせらか。され故にそこに悲劇が起り、結局は二人の青年から姿になった。 『金環蝕』を讀んで 此の賞讃大歓迎!! やつて見たい絹枝の役 想される大波瀾 に白熱的 栗島 すみ子様

★・少年の時の様な気持で、次が待たれてならない。
なる。久米先生が一つの型をしめすと、きつと後からそる。久米先生が一つの型をしめすと、きつと後からそる。久米先生が一つの型をしめすと、きつと後からそる。人米先生は、いつも時代に一歩先んじてる。 大下字陀兒先生

兩互匠の新作を讀む

東った二つの機器道をどう辿るか、私も本、多大の興 異った二つの機器道をどう辿るか、私も本、多大の興 異った二つの機器道をどう辿るか、私も本、多大の興 異った二つの機器道をどう辿るか、私も本、多大の興 異った二つの機器道をどう辿るか、私も本、多大の興 異った二つの機器道をどう辿るか、私も本、多大の興 異った二つの機器道をどう辿るか、私も本、多大の興 最大の光輝

久米先生の小説はいつも君 おしい。僕達青年にとつてのことを書かれてゐるやうで愉快だ。 はどんな京派な小説でも、よみにくい サトウ・ハチロー先生

一上於克吉先生 野朋でなくてはなりません で御座いませうか。お乳の で御座いませうか。お乳の あっ方に間違ひはありませんか。 だならラクトーゲンをおす になつて不充分な結果の為 はお困りの方がありまし

に是非おするめ致します。 意注御 一ラクトーゲンで御指定下さい間違えぬ歳必ず

賣店、

藥店食料品店

乾

御承知の通りラクトーゲン は先年京都帝大醫學部小兒 した通り、人工榮養品とし した通り、人工榮養品とし した通り、人工榮養品とし な育兒成績は世の多數の人 な育兒成績は世の多數の人





念

上から新京の慰霊祭(鄭徳珥の祭文期護)同中央通における分列式

天における北大党攻撃模擬戦(柳條海の實法)同慰置祭

大日本雄

所民宝郎を捧げ殿脈神に祭販を総職の祭訓に解いて記念祭販執行職島田・村田・一本の祭訓に解いて正日地方事務の経過にいる。

最一般を代表して玉串を職の祭詞に置いて武田地

記念祭

普蘭店の事變

営口の事

世良大佐の講演

【奉天】奈天蘭科響師會

寒齒科醫師會

満洲事變記念日を迎へ 全満市民の捧ぐる默禱

脈順における
 慰霊祭

日満聯合の大演習 終つて講演や映畵會

吉林の事變記念日 で表し併せて関下の御継の二周年記念日に當り敬 亚に菱刈軍司

親つ離はざるまでに撃破し吉林・
動三時間に亘る激戦は敵な再び
をいる以て雖る魔に敵な大殴し
がいか以て雖る魔に敵な大殴し 會で共同主催の下に九月十八 金州の記念祭

行事は左の順序に依り盛大に舉行 ではたの順序に依り盛大に舉行 南國族を掲げ献燈を立て十八日の開原は早朝より

討匪行の犠牲者の

二十日鳳凰城にて

戰病兵士慰問に 堂に於て宴會に入る武 日滿美妓の踊り の意識を記念日を でした、午後七時より小掃戲、部局員列拜同十時

八年九月二十日

洲日

報

社

南州國の辞版、日本青年の使命等を移話、軍事思想、教育産業、勞交移話、軍事思想、教育産業、勞交移話、軍事思想、教育産業、勞

の實況見る如し

各自の默黙が行はれたが戦社に上於て戦事に闘する戦田位山の 一分間のお続りを繋げた

開原の催 慰霊祭を執行

康定の通り午前九時よ 地に於ける九・一八記

事變記念 隊長へ電報にて感謝 秋陽な浴びて心行くまで練り廻りっさつ、市中な行邀し難かに晴れた

州支局長を命ず 錦州通信員

命じました。

戦健闘の結果、一部関東戦財務 あり、公慰室チームことての誇り
◆登旅順教式野球大会も七日間 けてるために大いに學ぶべき所で 無死消息の好機を減み 監で喰ひ止められ

た、河合に突鬱し トに立つ

を 手は大會中國一さいつても過ぎではなからう、 像解戦にないても過ぎではなからう、 像解戦において中頃。

戦を顧み

全旅順野球大會評

£

値する敗れたりさは云

金二拾錢增 女女 変 郷 個用

刀剣
肝白病壁に黄質自家製調
大連市磐城町五八 海澤室所機所
大連市磐城町五八 海澤室所機所
大連市磐城町五八 海澤室所機所 本書 器レコード十五級より 大山通交番トナリ 大山通交番トナリ 大次 装 日陸町 三浦屋 電話二二六四五番 店 電五四三九番

家政婦 一日泊込一

性病病

提中川上等兵の告別式は九月二十 おいて戦勢でも故大橋曹昆加藤伍 おいて戦勢でも故大橋曹昆加藤伍 節(二六)氏

日本大學計算修大學討論會 進する人々(社論解)

和新大臣、永井柳太郎

大隊長より通知があつた

一日午後三時熙原帝

告別式

十大会員部の一会員部の日本の日本 一大会員の日本によって、本誌を作 大大和島族の日本で、本誌を作 大大和島族の問題で、本誌を作 大和島族の問題で、本誌を作

モミ 治療が温の方は 町六九 電話八二〇三番

を 大々的公田町 第二一大〇四 大々的公田町六九番地

御使は富士へ

クリーコングは 町 選ドライ 電八三一六

好 有ります

費其他家畜類診療 質其他家畜類診療

大連牛乳株式舎計電四五三七番 アイスクリーム

日孫任行・第二二一三四番がマンギュウ・連續智振・選問・二二四番がマンギュウ・連續智振・選問・

大阪市北區天

吉野町一萬堂の御用命は

小川道男商店

(西廣場交孫麥通角)、均光社 (西廣場交孫麥通角)、均光社

ドテラ(丹曜) 仕立御 長襦袢 大連目後町さかい本店

卸件之本業

明電停大連接番向小替入ら 明、ソリク、神經痛、脚氣、 ゼンソク、神經痛、脚氣、 一個家興隆の基本なり 一個家興隆の基本なり 一個家興隆の基本なり 一個家興隆の基本なり 一個家興隆の基本なり

强力治林新藥

本本 日陸町エピス展電話二二五九五 日陸町エピス展電話二二五九五 の報参上 の報参上 の報参上 の報参上 の報参上 の報参上 の報参上 のまり。 一番

派遣多忙會員至急募集派遣多忙會員至急募集

等] 切病人附添通動性公何也 家政婦派造

工藤特務曹長

型こと第二回目の他別はもを選ぶる を発見の我が消滅無嫌疑により本意 はくも今次消刑事要が頻繁し、開 はくも今次消刑事要が頻繁し、開 はくも今次消刑事要が頻繁し、開 は、も今次消刑事要が頻繁し、開 は、も今次消刑事要が頻繁し、開 は、もの我が消滅無疑のため、日本地大 の発力を振びつと終に消二年単大

横道河子に建碑

一警官殉職の地

若い藝妓ど心中

五の男

女は絶命、男は虫の息

「重天」 漁殿警察職に於いては十 は来る二十五日午前六時四十分着 八日午前三時頭大唐鵬縣歌戲師同 安察職にて来報し同日は總銀事館 中であるが趣は貨幣像造組人で終 中であるが趣は貨幣像造組人で終 一年間に取り日本の五十銭像遊貨百個 が対帯な像遊し五十銭像遊貨百個 が対帯な像遊し五十銭像遊貨百個 を開舎に持つて行き四十個で劇場。 「工房目」 を消各地一覧に行はれ を開金に持つて行き四十個で劇場。 「工房目」 を消各地一覧に行はれ を開金に持つて行き四十個で劇場。 「工房目」 を消各地一覧に行はれ を開金に持つて行き四十個で劇場。 「工房目」 を消各地一覧に行はれ を開本の上もので修造資二百二 を開水事業長出まームに飲金事集 ・ 「つき五」房店職合婦人館税事三十 ・ 「できる」房店職合婦人館税事三十 ・ 「できる」房店、「できる」房店職合婦人館税事三十 ・ 「できる」房店、「できる」。 「大日午前九時より五種に できる。「できる」房店、「できる」房店、「できる」房店、「できる」。 「大日午前九時より五種に できる。「できる」房店、「できる」。 「できる」 「できる。」 「できる。」 「できる。」 「できる」 「できる。」 「できる」 「できる。」 「できる」 「できる」 「できる。」 「できる」

(高期) (長替我部) (銀)

園遊地開園式

はいった大にの難な概じ之れな流 にても大にの難な概じるれな流 を回回有志感が日滿市民の気めに を回回有志感が日滿市民の気めに を回回有志感が日滿市民の気めに でも大に、の難な概じ之れな流 にても大に、の難な概じ之れな流 にても大に、の難な概じ之れな流

德川公使視察

時切消費組合四辻、神社第一鳥居 ・ 一島田・ 神社第一鳥居

編北 <u>新</u>田 美原 村原

リ獣魔式を日溝合同にて駆行した助することとも一代日午後一時よ

H

【●K】満洲融解のため徳川公使 一非常体が成績であった

州內北部對千歲庭球戰

連山關勝つ

大学事官食師を開催し駆破の順新 し参事官食師を開催し駆破の順新 し参事官食師を開催し駆破の順新

官會議

奉天省縣參事

が職をなすさ

[風風城] 九•一八記念日當日當

鳳凰城の催し

聯合軍敗る

一年前を顧みてま

貫戦参加勇士の手記

有田ドラッグ

サギ師きる

一他に迷ふことなく本類を服用あれ

洗滌の危險

主

党に、数日後にはその喜び温きリベール臭を放つて排 強きリベール臭を放つて排

和な淋病ではない、淋毒・臓なく御相談せられたし。 がに設置せる我有田下

大概の人には「かさ気、海気」
大概の人には「かさ気、海気」

影と目惚気のない者はない」

療法 に火燈 仁信通 にオヂラ

にブンラルナョシナ



でも出

C可能物便與種三第)

環境好轉に景氣づき

甘珠爾定期市開く

した作品は何れも非常な出来集で 製し十七日午後二時からは成津大 が真に意歌謎、宮崎野事官、何教 が真に意歌謎、宮崎野事官、何教 では、現常立師短繋で起等の論 が真に意歌謎き艦しであつた

作品は何れも非常な出

松波博士の感激

新京誠忠碑に二度も参拜

平和の鐘樓に醵金

海拉爾から自動車

會式

「新京」日浦經濟アロック並に流洲國内に於ける教育、宗教と、 要が理職に登録とある新京西公園内が帰ヶ丘の旅忠神に参 第土の遺情を安置とある新京西公園内が帰ヶ丘の旅忠神に参 第土の遺情を安置とある新京西公園内が帰ヶ丘の旅忠神に参 野土の遺情を安置とある新京西公園内が帰ヶ丘の旅忠神に参 野土の遺情を安置とある新京西公園内が帰ヶ丘の旅忠神に参 野土の遺情を安置とある新京西公園内が帰ヶ丘の旅忠神に参 野土の遺情を安置とある新京西公園内が帰ヶ丘の旅忠神に参 野土の遺情を安置とある新京西公園内が帰ヶ丘の旅忠神に参 野土の遺情を安置とある新京西公園内が帰ヶ丘の旅忠神に参

憲友支部發

戦等の危險、又は外端の國臨別領 配の除波は途中に於ける所賊の 動を変は途中に於ける所賊の 動を表するなったが近来、國内援

ある平和の鎌梗亜部資金中にも金一封を寄附した水気に鑑な慰むることろあった、尚ほ一行は新京に計畫中で

大の団を爲して

化業古人の半年分が至一ケ年分でもは見られなかったが、 兎もどの二千有五百餘包も黙成せし

行 があれば何時でも自

「八世版とこで練下各壁度生徒の 存織、瓦房店、作品販監督を輸ご職業中要核に於 等より参集したで十六、十七、十八の三日閲覧館

演習

新京商業野外

は二十六、七日曜日に直る歌駅へ は二十六、七日曜日に直る歌駅へ 地における中等駅校駅舎蔵智参加 に先だち、二十日から二十五日送 の漢智を施行するここになり、東

日乃至四百餘包の急遣市街は建取引の市場の事とてそれでも

が重に依る時優に十日間以上を繋がする此の行程も僅かに四時間位に て那響する由、是等の利便と構像に大田時間位に

五十錢銀貨の

偽造犯逮捕

三年間密造し續く

西田 楠北 中石山岩 小和村原 美原川森 内切 池田

たれて熊の事さて新國家歌氣・漫説する目も遠くはあるまいたれて熊のなされた中では正に治安しって王道政治の能感から来る宏勝い、しかるに本年は正に治安しって王道政治の能感から来る宏勝にれて熊のない。

す因で「うみ」去り痛み速く消散す



判決主文

斷罪刹那の公判廷

き崩れ

『神の御心で判決を願ひます』ど

悲痛な叫びの後へ

ス

7

濱町海岸から鞍山

海軍側公判

東端二十五幅のフライ・ホエ・東端二十五幅のフライ・ホエ・

八日森田交通部から司法

の、如く、問題は、哈と李智雅を突へ約三時間に属の ・ 以来自引展部 成行を注目さる

の國に

消毒を励

殿内西小學校四

鐵道防疫醫

女 線 しいベストの

新京に現れた

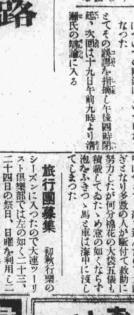












書籍日録無代

看,人員百五十名、會工四日午後四時四十五十四日午後四時四十五十三日午前七時大時人 (Q全国で一枝(就勝組八巻別姿る)東京 品川県前の東京東京東海道の単校)で、東京東京道の単校

寺別院では二十日より勤後学會特別布教



山ででいたが



撫順炭礦經理課

頭痛・ノーシン

遞信 習言馬







九

きは 樂春官の 技術で 問題に 1 ・ 独審官の 役目 心果 こ た 縄書いて 単常は 若等が 反省 こ て 果れ た 縄書いて 単常は 基準が 反省 こ て 果れ た

北鐵管

理局の醜聞

滿洲

國政府重大決意をなす

内地の小學生から

下さい

執政府へ優しい手紙

年生水客宏海君から敷山前執政府

市中望診を施行

生皮の搬入を禁止

はより観響は原則さして都動地 よび線局が酷りそれ以外の奥地は はなり、これの奥地は

までも支援してゆ

紙の目前は九月九日前さなってに次のやうな手紙が郷込んだ。

新正 十八日の本紙朝刊に大連 開催さ記せとも右は二十二日の映 開催さ記せとも右は二十二日の映

原戦より他ろ

期間大連市三週間

画道] 五・二五本 画する山本検察官

の運動

絶好の旅行 月五日

山河町口 敬歌的教會

きあがった。

正規の應募者全部へ洩れなく進呈

(薬)を除ら

す

つきり

2

ヌ

7

水

7

手(二錢五厘)五

五千

拔

U

出地

1:

一九二四兹电

は、シッミ戦念の唇を喰んであ はられビストルを擬せられてぬる はられビストルを擬せられてぬる

白金腕

時計

昭和八年十月二十五日前後

金廿圓也調勸業債券

二千本

新

かっ

計

Ξ

黄色い織の覆面をした部下茎にんだ映像――

報

大丈夫!親分はさつさ僕に、明日 一が、彼は立ちごまつれ。 見せてくれる。親分はなんさいつない。船へ連れて行かれたつてーない。船へ連れて行かれたつて一大平洋の真ん中だつて、親分はちやんご歸つて来る。無事な醸をちやんご歸つて来る。無事な醸を

がアパートへ戻つたのは午前一そのま、踵を返した。

かつたなりさうだ。一つ見難りら今夜はあの部屋の前に行つて見な た。 た。

でする。 三時だつた。 では、大力がり疲れた身體を軽量。 へて、すつかり疲れた身體を軽量。 でして、あの親分のこさだ…」 に概へたが、妙に眠れなかつた。 になるに、あの親分のこさだ…」 た。が、閉ちた臓の寒にふさ一酸の部屋にはまだ境火が魅つてるは、なに氣なく笑ひ寒てやう 彼は揺むんだ。この歌更に、こあに、あの親分のこさだ…」「一―?」 就聴前に、そつさび夢の姿否をた同じ三階の館――彼は、いつも

大丈夫だ。はゝ、。親分の身の上に、なんの心配がいるもんか。娘 に、なんの心配がいるもんか。娘 等こそ親分に今頃かたなつけられ てゐるだらう。親分のあの腕、あ の智慧は、奴等が頼になつてかゝ の智慧は、奴等が頼になつてかゝ なもんどやない。大丈夫だ!!おれ はたゞ親分の命念通り、と愛さん できった。乙彦さんの守り役した。

者

(四)

颱

卷

(101)

8-51

二等 四等 等

蜂ブドー酒の包紙のレッテル二枚を以て一口と 當籤者へ景品を御贈呈いたします。 にて左記へ御送り下さい。規定に依り抽籤の上 し各裏面に住所氏名を明記の上(三錢切手貼付) 一千口一組



石湯 界の

の関理

南湍大理后至場

播磨町五五(幼稚園前 百般 **本 眞**

質リニ六十 →店

墨後睛

頭。

で爽かに晴れます

世界的優秀最新式高級品

カタログ学 要郵券内容

山中無線電機製作所

出

座

仕事や勉强で疲れて曇った

は手まめにお洗ひ下さい 秋は殊更フケの出がちな季節です 的な洗髪料でございます プーはサラリとおちて乾きが早く近代 地脈まで清淨に洗つてお髪を艶やかに整べます毛髪を科髪的に研究して出來た花主シャンプーは 花王シャン



整髪美を愛で給 P う F. ts 家庭用には徳用なメヌマ 旅行用には便利な メヌマ・チューブ入 の瓶入 大阪井田京榮堂

實用足袋卸賣 五球パリミュペントード組込一式七球 同 - 英値ラデオ受信機各種 - 有名ラ 宮話 匹匹立てき 山本洋行 留三六九五番 滿洲日報社廣告部

ヘテロダイン組込一式

〇五六

.

M - 48